

NAS-
RESCUE

NAS-RESCUE

ADVANCED

HDDクローンソフト

Clone Meister

7 日間
ライセンスキー

NAS-RESCUE ADVANCED 24.10.1

マップファイル名: /home/nr/Mapfiles/20241016-162721.map

コピー元: /dev/sda

コピー先: /dev/sdb

不良箇所の分断処理: ☐ 有効

再試行の回数: 3

セクタサイズ: 512 bytes

反転モード: ☐ 逆方向に読み込む

開始位置: bytes

コピーサイズ: bytes

Model Number: TOSHIBA MK1665GSX
Serial Number: 5016C1WUT
Firmware Revision: GJ003N
Sector Size: 512 bytes
Device Size: 160 GB (160041 MB)

Model Number: Crucial CT250MX200SSD1
Serial Number: 14510E791A0D
Firmware Revision: MU01
Sector Size: 4096 bytes
Device Size: 250 GB (250059 MB)

開始 キャンセル ログ表示

お問い合わせ 戻る

ipos: 160041 MB, non-trimmed: 0 B, current rate: 411330 kB/s
opos: 160041 MB, non-scraped: 0 B, average rate: 75384 kB/s
non-tried: 0 B, bad-sector: 0 B, error rate: 0 B/s
rescued: 160041 MB, bad areas: 0, run time: 35m 22s
pct rescued: 100.00%, read errors: 0, remaining time: n/a
time since last successful read: n/a

Finished

NAS-RESCUE
ADVANCED

- SATAインターフェースのハードディスクやSSD
 - NvmeインターフェースのSSD
 - USBインターフェースのハードディスクやSSD
 - USBメモリ
 - スマートメディアカード
 - フロッピーディスク
- を対象にクローンの作成が可能です。

NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister

クローンマイスターの使い方

- ・ 7日間ライセンス ・ 30日間ライセンス
- ・ 180日間ライセンス

目次

第1章	NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の特徴.....	4
1.1	CloneMeister のバリエーションと販売形態.....	4
1.2	NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の対応メディア	5
1.3	異なるメディアへのクローン作成が可能	5
1.4	NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の特徴	5
第2章	前準備	6
2.1	アマゾンやヤフーショッピングで USB 版を購入された方	6
2.2	LinkStation データ取り出し、LanDisk データ取り出しを購入された方	6
2.3	NAS-RESCUE ADVANCED の ISO イメージをダウンロードする方	6
第3章	基本操作	7
3.1	NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の起動と画面の項目の説明	7
3.2	HDD(160GB) → SSD(250GB) のクローン作成の手順	9
3.2.1	コピー元、コピー先のメディアをセット後に CloneMeister の画面を開きます	9
3.2.2	コピー元のリストボックスを操作して、メディアが認識されている事を確認します	9
3.2.3	コピー元のメディアとコピー先のメディアを選択します	10
3.2.4	コピー元とコピー先の選択が正しい事を確認して、「開始」ボタンをクリックします	11
3.2.5	コピー中の状態	11
3.2.6	コピーが正常に終了	13
3.2.7	コピー結果のログ表示	14
3.3	CloneMeister のコピー動作	15
3.4	反転モード	16
3.5	部分コピー	16
3.6	ログファイルの保存期間	17
3.7	コピーの中断と再開	18
3.7.1	NAS-RESCUE ADVANCED のメニュー画面に戻った後に再開する場合	18
3.7.2	PC を再起動してからのコピー再開の方法	19
第4章	ログ画面の解析と対処方法	21
4.1	Read エラーの発生箇所を確認する	21
4.2	領域の後半で Read エラーが多発	24
4.3	データの保存領域で Read エラーが発生	25

第5章	こんな時は？	27
5.1	PCにHDDを接続したら、NAS-RESCUE ADVANCEDが起動しない	27
5.2	USB経由でコピー元のHDDを接続したが、認識しない	28
5.3	HDDの容量が正しく表示されない	29
5.4	コピー中に「Write error」と表示された	29
5.5	コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴りだした	29
5.6	一週間経ったがコピーが終わらない	30
5.6.1	ログ画面の表示からコピーの再開、中止を判断	31
5.6.2	状態1.「1回目のコピー中」の場合	32
5.6.3	状態2.「1回目のTrim・Scrape中」の場合	33
5.6.4	状態3.「2回目の再試行中」の場合	33
第6章	CloneMeisterの前準備	34
6.1	NAS-RESCUE ADVANCEDのイメージをダウンロード	34
6.2	NAS-RESCUE ADVANCEDをUSBメモリにインストール	34
6.2.1	USBメモリの用意	34
6.2.2	フリーのISO書き込みソフト「Rufus」をダウンロード	34
6.2.3	USBメモリにインストール	35
6.3	PCのBIOSを変更	38
6.4	メーカー別USBから起動する方法	39
6.4.1	起動メニューの表示と設定方法	39
6.4.2	メーカー別起動メニューの起動方法	40
6.5	ネットワークの設定	41
6.5.1	Wifi接続設定の方法	42
6.6	ユーザー登録	45
6.7	ライセンスコードの登録	50
6.8	ライセンスの購入	52
第7章	お問い合わせの仕方	56
7.1	弊社で必要な情報	56
7.2	操作手順	56
7.2.1	「お問い合わせ」ウィンドウを表示	56
7.2.2	CloneMeisterの画面のハードコピーを添付	57
7.2.3	ログの画面のハードコピーを添付	58
7.2.4	コピー元のパーティション図のハードコピーを添付	59
7.2.5	コピー先のパーティション図のハードコピーを添付	60
7.2.6	お問合せ内容を入力	62
7.2.7	メールを送信	63

第1章 NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の特徴

本章では NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の特徴を説明します。

1.1 CloneMeister のバリエーションと販売形態

CloneMeister は、従来から販売されていた、CloneMeister と、NAS-RESCUE ADVANCED に組み込まれている CloneMeister の二種類が存在しますが、従来から販売されていた、CloneMeister は、今後販売を終了し、NAS-RESCUE ADVANCED に組み込まれている CloneMeister の一種類になります。

CloneMeister は、ライセンスの期間により、以下の 3 種類のバリエーションとなります。

ライセンス期間	ダウンロード版	USB 版	備考
7 日間	2,200 円	5,500 円	USB 版は、アマゾンやヤフーショッピング等からの購入になります。
30 日間	5,500 円	8,800 円	
180 日間	22,000 円	25,300 円	

※価格は、10%の消費税込み

表 1.1.CloneMeister のバリエーションと販売形態

※購入例 1・・・7 日間ライセンスの USB 版を購入した。その後、ライセンスが切れたので、7 日間ライセンスのダウンロード版を購入した。

※購入例 2・・・LinkStation データ取り出しを購入した。クローン作成が必要になり、7 日間ライセンスのダウンロード版を購入した。

※購入例 3・・・NAS-RESCUE ADVANCED をダウンロードし、7 日間ライセンスのダウンロード版を購入した。

※ライセンスの考え方

10 月 1 日に、7 日間ライセンスを購入した場合、10 月 8 日の 23 時 59 分までのライセンスとなります。この期限内は、クローン作成開始のボタンが押せるということです。

また、クローン作成中にライセンスが過ぎても、クローンの作成を続けます。但し、一旦中断してしまえば、ライセンスの期限が過ぎていれば、クローン作成開始のボタンが押せなくなります。

1.2 NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の対応メディア

NAS-RESCUE ADVANCED に組み込まれている CloneMeister は、

- ・ SATA インターフェースのハードディスクや SSD
- ・ Nvme インターフェースの SSD
- ・ USB インターフェースのハードディスクや SSD
- ・ USB メモリ
- ・ スマートメディアカード
- ・ フロッピーディスク

を対象にクローンの作成が可能です。

1.3 異なるメディアへのクローン作成が可能

それぞれのメディア同士のクローン作成はもちろん、異なるメディアへのクローン作成が可能です。例えば、

SATA インターフェースのハードディスク → SATA インターフェースの SSD

SATA インターフェースのハードディスク → Nvme インターフェースの SSD

USB メモリ → SATA インターフェースのハードディスク

スマートメディアカード → USB メモリ

フロッピーディスク → USB メモリ

などが可能です。

但し、クローン先の容量がコピー元の容量以上であることが条件になります。

1.4 NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の特徴

- ・ 高速にクローンを作成。(NAS-RESCUE ADVANCED のメディアは、USB3.0 の USB メモリを推奨)
- ・ エラースキップ機能 (Read エラーが発生するハードディスクでも、クローン作成が可能)
- ・ 逆方向からのクローン作成が可能
- ・ 指定箇所のコピーが可能
- ・ 3 段階のライセンス構成 (7 日間、30 日間、180 日間)

第2章 前準備

本章では、CloneMeister を操作できるようになるまでの手順を説明します。以下のそれぞれの状態に合わせて、手順を箇条書きで説明します。（それぞれの詳しい手順は、第6章に掲載します。）

- ① アマゾンやヤフーショッピングで USB 版を購入された方
- ② LinkStation データ取り出し、LanDisk データ取り出しを購入された方
- ③ NAS-RESCUE ADVANCED の ISO イメージをダウンロードする方

2.1 アマゾンやヤフーショッピングで USB 版を購入された方

- 手順 1-1.PC の BIOS を変更
 - 「6.3. PC の BIOS を変更」 (P37)
 - 「6.4. メーカー別 USB から起動する方法」 (P38)
- 手順 1-2.ネットワークを設定
 - 「6.5. ネットワークの設定」 (P40)
- 手順 1-3.ユーザー登録
 - 「6.6. ユーザー登録」 (P44)
- 手順 1-4.ライセンスコードを登録
 - 「6.7. ライセンスコードの登録」 (P49)

2.2 LinkStation データ取り出し、LanDisk データ取り出しを購入された方

- 手順 2-1.ライセンスの購入
 - 「6.8. ライセンスの購入」 (P51)

2.3 NAS-RESCUE ADVANCED の ISO イメージをダウンロードする方

- 手順 3-1.NAS-RESCUE ADVANCED の ISO イメージをダウンロード
 - 「6.1.NAS-RESCUE ADVANCED の ISO イメージをダウンロード」 (P33)
- 手順 3-2.ISO イメージを USB メモリにインストール
 - 「6.2.NAS-RESCUE ADVANCED を USB メモリにインストール」 (P33)
- 手順 3-3.PC の BIOS を変更
 - 「6.3. PC の BIOS を変更」 (P37)
 - 「6.4. メーカー別 USB から起動する方法」 (P38)
- 手順 3-4.ネットワークを設定
 - 「6.5. ネットワークの設定」 (P40)
- 手順 3-5.ユーザー登録
 - 「6.6. ユーザー登録」 (P44)
- 手順 3-6. ライセンスの購入
 - 「6.8. ライセンスの購入」 (P51)

第3章 基本操作

本章ではNAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の基本操作について説明します。

3.1 NAS-RESCUE ADVANCED CloneMeister の起動と画面の項目の説明

マップファイル名 /home/nr/Mapfiles/20241021-183249.map

コピー元

コピー先

不良個所の分断処理 ☒ 有効

再試行の回数 3

セクタサイズ 512 bytes

反転モード ☐ 逆方向に読み込む

開始位置 bytes

コピーサイズ bytes

開始 キャンセル ログ表示

お問い合わせ 戻る

このコンピューターに接続されているHDDの構成が変更されたため、
前回のHDDクローン設定は使用できません。
再度HDDクローン設定を入力して、開始ボタンを押してください。

NAS-RESCUE
ADVANCED

図 3.1. CloneMeister の起動時の画面

次ページに各項目の説明を記述します。

コピー元のメディアとコピー先のメディアが、PC に接続されていれば、

- ① コピー元のリストボックスから、コピー元のメディアを選択
- ② コピー先のリストボックスから、コピー先のメディアを選択
- ③ 「開始」 ボタンをクリック

この手順でクローン作成ができます。

No	項目名	種類	必須	説明
1	マップファイル名	ラベル	－	コピーの進捗並びに結果を保存するファイル名
2	コピー元	リスト	○	コピー元のメディアを選択するリストボックス。右側にメディアの機種名、シリアル番号等が表示されます。
3	コピー先	リスト	○	コピー先のメディアを選択するリストボックス。右側にメディアの機種名、シリアル番号等が表示されます。
4	不良箇所の分断処理	チェック		ReadしたブロックにRead不能セクタが存在した場合、不良セクタと正常セクタを分離処理するかどうかを指定します。通常は、チェックを入れた状態で使用。
5	再試行の回数	テキスト	○	一通りクローン作成をした後、Read不能セクタが存在した場合の回数を指定します。「3.3 CloneMeisterのコピー動作」を参照下さい。
6	セクタサイズ	テキスト	○	メディアのセクタサイズを指定します。512バイト、もしくは、4096バイトを指定します。
7	反転モード	チェック		逆方向からReadする場合にチェックを入れます。逆方向のコピーは、時間が掛かります。
8	開始位置	テキスト		部分コピーを行う場合の開始位置を指定します。
9	コピーサイズ	テキスト		部分コピーを行う場合にコピーするバイト数を指定します。
10	開始	ボタン	－	コピーを開始します。
11	キャンセル	ボタン	－	コピーを中止します。
12	ログ表示	ボタン	－	コピーのログを表示します。
13	お問い合わせ	ボタン	－	お問い合わせをする場合にクリックします。
14	メッセージ欄	ラベル	－	使用状況により、適宜メッセージが表示されます。

表 3.1.CloneMeister の表示項目等の説明

3.2 HDD(160GB) → SSD(250GB) のクローン作成の手順

3.2.1 コピー元、コピー先のメディアをセット後に CloneMeister の画面を開きます

・SATA インターフェースの HDD や SSD、もしくは NVME インターフェースの SSD を USB 経由ではなく、PC に接続する場合は、PC の電源が入っていない状態で接続をしてから、NAS-RESCUE ADVANCED を起動します。(もし、起動しない場合は、「5.1.PC に HDD を接続したら、NAS-RESCUE ADVANCED が起動しない」(P26) を参照下さい。)

・USB 経由でメディアを接続する場合は、NAS-RESCUE ADVANCED を起動し、CloneMeister のライセンスが表示されてから、PC に接続します。

※注意 CloneMeister のライセンスが表示される前に、USB 経由でメディアを接続した場合、PC で認識されません。ライセンスが表示されてから接続して下さい。

※注意 CloneMeister の画面を開いた状態で、USB 経由で PC に接続した場合、コピー元、コピー先のリストボックスに反映されない場合があります。

3.2.2 コピー元のリストボックスを操作して、メディアが認識されている事を確認します

コピー元のリストボックスをクリックすると、PC が認識しているメディアが一覧表示されます。いずれかのメディアをクリックすると、図 3.2.コピー元のメディアを選択後の画面のように、リストボックスの右側に、選択されたメディアの諸元が表示されます。(表 3.2.選択されたメディアの諸元項目の説明を参照)

コピー元のリストボックスを操作して、コピー元のメディア並びにコピー先のメディアが PC に認識されている事を確認します。

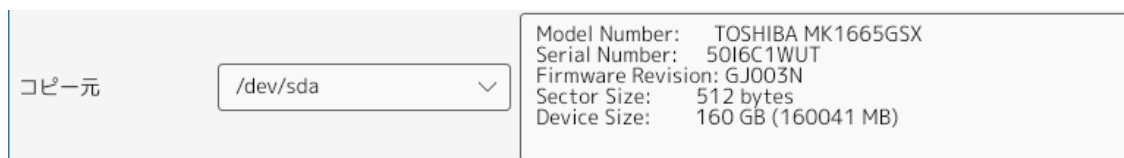


図 3.2.コピー元のメディアを選択後の画面

コピー元のリストボックスから、コピー元のメディアを選択します。
メディアを選択すると、右側の表示欄に、選択されたメディアの諸元が表示されます。

項目名	説明
Model Number	機種名。メディアの正面に表示されています。
Serial Number	シリアル番号(製品番号)。概ね、メディアの正面に表示されています。
Firmware Revision	ファームウェアのバージョン。稀にメディアの正面に表示されています。
Sector Size	セクターのサイズ。512 バイト、もしくは 4096 バイトと表示されます。
Device Size	メディアのサイズ。

表 3.2. 選択されたメディアの諸元項目の説明

3.2.3 コピー元のメディアとコピー先のメディアを選択します

コピー元	/dev/sda	Model Number: TOSHIBA MK1665GSX Serial Number: 5016C1WUT Firmware Revision: GJ003N Sector Size: 512 bytes Device Size: 160 GB (160041 MB)
コピー先	/dev/sdb	Model Number: Crucial CT250MX200SSD1 Serial Number: 14510E791A0D Firmware Revision: MU01 Sector Size: 4096 bytes Device Size: 250 GB (250059 MB)

図 3.3. コピー元とコピー先のメディアをセットした例

3.2.4 コピー元とコピー先の選択が正しい事を確認して、「開始」ボタンをクリックします

CloneMeister 側では、

コピー先の容量 ≥ コピー元の容量

の状態であれば、クローンの作成を開始します。

※注意 コピー元と、コピー先を間違えると、永久にデータの復元は出来なくなります。最大限の注意が必要です。

ポイント！ 弊社では、この間違いを防ぐ為に、コピー元とコピー先のメディアのメーカーを異なるメディアにする。コピー先の容量を大きくする。ということで、致命的なコピー間違いを防ぐようにしています。

3.2.5 コピー中の状態

The screenshot shows the 'Clone Meister' window of NAS-RESCUE ADVANCED 24.10.10.1. The interface is in Japanese and displays the following information:

- マップファイル名:** /home/nr/Mapfiles/20241016-162721.map
- コピー元:** /dev/sda (TOSHIBA MK1665GSX, 160 GB)
- コピー先:** /dev/sdb (Crucial CT250MX200SSD1, 250 GB)
- 不良個所の分断処理:** ☒ 有効
- 再試行の回数:** 3
- セクタサイズ:** 512 bytes
- 反転モード:** ☐ 逆方向に読み込む
- 開始位置:** [] bytes
- コピーサイズ:** [] bytes
- Buttons:** 開始 (Start), キャンセル (Cancel), ログ表示 (Log Display), お問い合わせ (Contact Us), 戻る (Back)
- Status Bar (Bottom):**
 - ipos: 27033 MB, non-trimmed: 0 B, current rate: 93978 kB/s
 - opos: 27033 MB, non-scraped: 0 B, average rate: 91950 kB/s
 - non-tried: 133008 MB, bad-sector: 0 B, error rate: 0 B/s
 - rescued: 27033 MB, bad areas: 0, run time: 4m 54s
 - pct rescued: 16.89%, read errors: 0, remaining time: 23m
 - time since last successful read: 0s

図 3.4. コピー中の状態

コピー中は、「キャンセル」ボタンと「お問い合わせ」ボタン以外、クリックできない状態になります。

メッセージ欄(コピーサイズの下の青背景のエリア)に、コピーの進捗状況が表示されます。

No	項目名	説明
1	Ipos	コピー元の現在 Read している位置
2	Opos	コピー先の現在書き込みしている位置
3	Non-tried	1 回目の Read が終了していないサイズ
4	Rescued	正常にコピーできたサイズ
5	Pct-rescued	正常にコピーできたサイズのパーセンテージ
6	Non-trimmed	Read エラーが発生したメディアにおいて、2 回目以降の処理で、Trim 処理を行っていないサイズ。 Trim 処理とは、Read エラーが発生したブロックに対して、前方 Read 並びに後方 Read を行い、それぞれ Read エラーが発生するセクターまで進める処理。
7	Non-scraped	Read エラーが発生したメディアにおいて、Trim 処理を行った領域において、Read エラーを特定する作業を行っていないサイズ
8	Bad-sector	読み込み不可セクターのサイズ
9	Bad areas	読み込み不可セクターが発生した場所の数
10	Read errors	読み込みエラーが発生したサイズ
11	Current rate	現在の読み込み速度
12	Average rate	平均の読み込み速度
13	Error rate	Read エラーが発生した箇所の読み込み速度
14	Run time	コピーの経過時間
15	Remaining time	コピーの推定の残り時間
16	Time since last Successful read	Read エラーが発生したメディアにおいて、正常に Read できなくなっからの経過時間

表 3.3.進捗状況の表示項目の説明

3.2.6 コピーが正常に終了

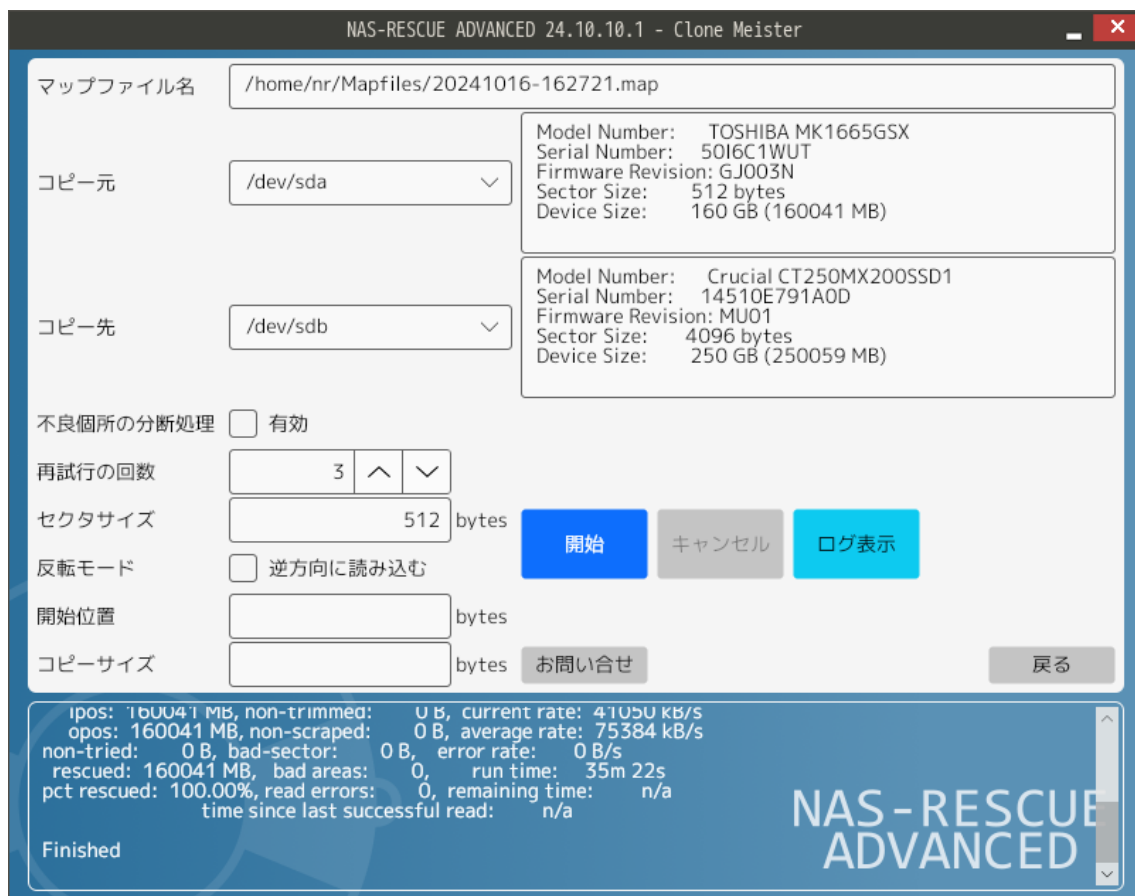


図 3.5.コピーが正常終了

メッセージ欄(コピーサイズの下の青背景のエリア)の最終行に、「Finished」と表示されます。

「ログ表示」のボタンをクリックすると、コピーの結果が表示されます。

3.2.7 コピー結果のログ表示

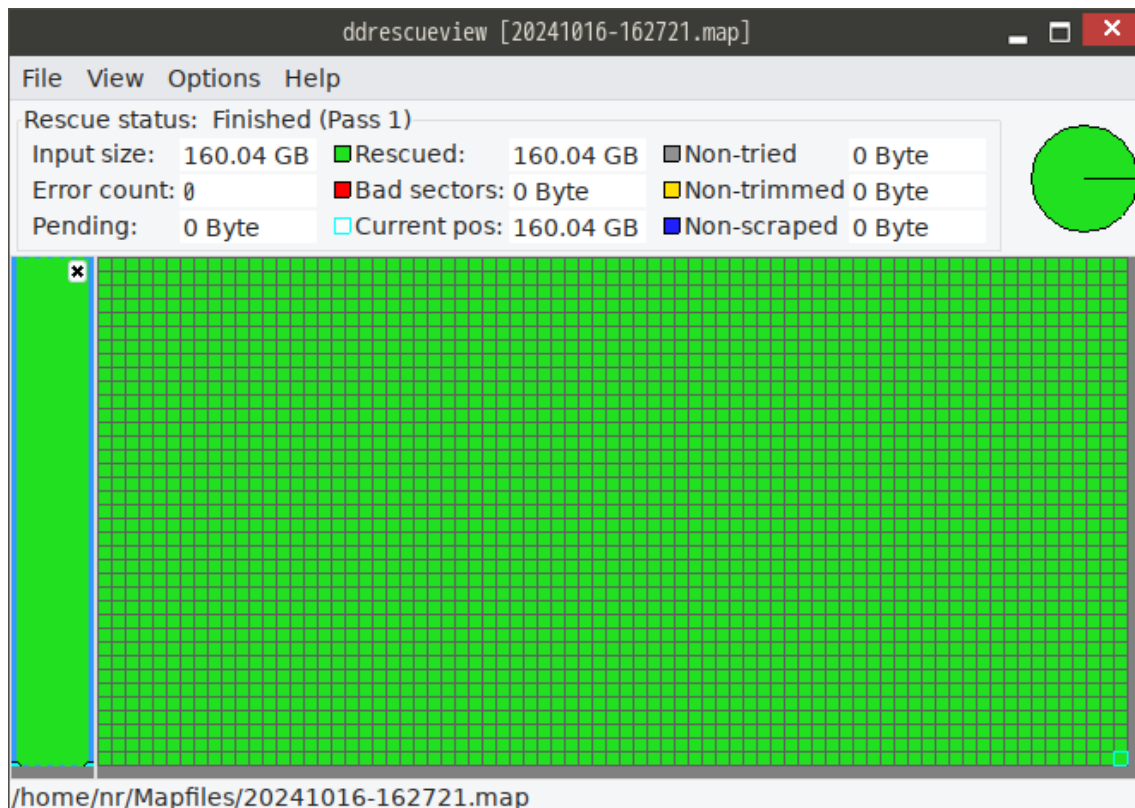


図 3.6.コピー結果のログ表示

コピー結果は、3つの方法で表示されます。

一つ目は、上段の数字形式(各項目の説明は、下表)

二つ目は、上段右の円グラフ表示(一円で、メディア全体を示す)

三つ目は、下段のマス目形式(マス目全体で、メディア全体を示す)

No	項目名	説明
1	Input size	コピー元のメディアのサイズ
2	Error Count	Read エラーが発生した回数
3	Pending	Read エラーが発生して、未処理のサイズ
4	Rescued	正常にコピーできたサイズ
5	Bad sector	不良セクターと断定された個数
6	Current pos	現在の Read している位置
7	Non-tried	未だ、コピーを行っていないサイズ
8	Non-trimmed	表 3.3.進捗状況の表示項目の説明の同名箇所を参照
9	Non-scraped	

表 3.4.ログ内の項目の説明

3.3 CloneMeister のコピー動作

CloneMeister は、以下の 4 段階でコピーを行います。

第一段階 正常ブロックと、非トリム・ブロックとに分離

ブロック単位で Read していき、Read エラーが発生した場合、このブロックを非トリム・ブロックとしてマークし、とにかく最後まで、Read します。当然、非トリム・ブロックが発生しない場合は、ここでコピーは終了します。

第二段階 非トリム・ブロックから、非スクレイプ・ブロックの抽出

非トリム・ブロック毎に、前方からセクタを 1 個 1 個 Read し、Read エラーが発生するセクタまで進めます。次にブロックの後方からセクタを 1 個 1 個 Read し、Read エラーが発生するセクタまで進めます。Read エラーが発生した区間のブロックを非スクレイプ・ブロックとしてマークします。

第三段階 非スクレイプ・ブロックから、Read エラーが発生するセクタの抽出

非スクレイプ・ブロックに対して、セクタ毎に Read して、Read エラーが発生するセクタを抽出します。

第四段階 Read エラーが発生したセクターを指定回数分、リトライ

「再試行の回数」の設定で行う、再試行とは、上記の第四段階のリトライ回数を言います。

3.4 反転モード

クローンを作成していると、途中で Read エラーが多発して、全然前に進まない、ということが有ります。このような場合は、「反転モード」を試してみる、というのも一手です。

操作方法は、

一旦、「キャンセル」ボタンをクリックして、コピーを中断し、
「反転モード」にチェックを入れて、
「開始」ボタンをクリックします。

反転モードは、コピーの速度が遅いですが、試してみる価値は有ります。
実際に、お客様より、「反転モード」でデータの取出しができた、という声を頂いております。

3.5 部分コピー

一部分のみをコピーしたい場合が有ります。

この場合は、「開始位置」と「コピーサイズ」を指定して、「開始」ボタンをクリックすることで、できます。

「開始位置」と「コピーサイズ」を指定するには、「KB」と「KiB」、「MB」と「MiB」と言う風に、「i」が入るか、入らないかで、実際の位置やサイズは微妙に変わる事を理解する必要が有ります。

$1\text{ KB} = 10^3\text{ B} = 1000\text{ B}$ $1\text{ KiB} = 2^{10}\text{ B} = 1024\text{ B}$

$1\text{ MB} = 10^6\text{ B} = 100\text{ 万 B}$ $1\text{ MiB} = 2^{20}\text{ B} = 104\text{ 万 }8,576\text{ B}$

CloneMeister での表記は、「i」を含まない単位です。

Windows 上では、 $1\text{ KB} = 1024\text{ B}$ と、「i」が入っていないのに、「i」を含んだ単位として使われているようなので、注意が必要です。

3.6 ログファイルの保存期間

NAS-RESCUE ADVANCED の起動がUSBメモリの場合に限り、CloneMeisterのログは、USBメモリに保存されます。
例えば、CloneMeisterでコピー中に、一旦、「キャンセル」し、NAS-RESCUE ADVANCEDのメニューに戻り、再度、CloneMeisterの画面を開こうとした時、キャンセル時と完全に接続が一致している場合に限り、下記のメッセージが表示されます。

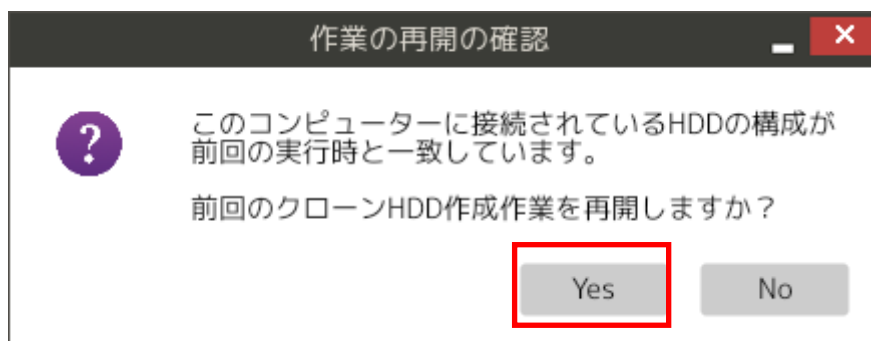


図 3.7.作業の再開の確認メッセージ

コピーを継続する場合「Yes」

新規にコピーを開始する場合は「No」
を選択します。

※注意 この処理は、直前のログに対してのみであり、2回前、3回前等のログを選択して継続する、とうことはできません。

3.7 コピーの中断と再開

コピーを中断するには、「キャンセル」ボタンをクリックすると、少々時間経過後に中断できます。

HDD 等のメディアの接続を変更しなければ、「開始」ボタンをクリックすることで、継続してコピーが再開されます。

但し、CloneMeister のライセンスの期限が、「開始」ボタンをクリックする時点で切れていれば、「開始」ボタンをクリックすることができません。この場合は、ライセンスを購入下さい。

3.7.1 NAS-RESCUE ADVANCED のメニュー画面に戻った後に再開する場合

前回の CloneMeister 利用時と完全に同じ接続の場合に限り、以下のメッセージが表示されます。ここで、「Yes」をクリックすると、コピーを再開できます。

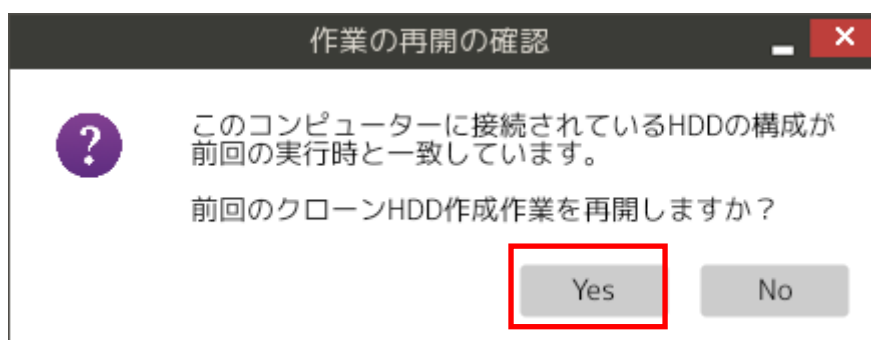


図 3.8.作業の再開の確認メッセージ

※注意 一旦「No」をクリックすると、二度とコピーの再開は出来なくなるので注意して下さい。

もし、「図 3.8.作業の再開の確認メッセージ」が表示されなかった場合は、HDD 等の接続が変わった事として認識され、コピーの再開はできず、新規コピーの状態になります。

3.7.2 PC を再起動してからのコピー再開の方法

操作 1. 再起動する前に、NAS-RESCUE ADVANCED のメニュー画面から、「ディスクユーティリティ」ボタンをクリックします。

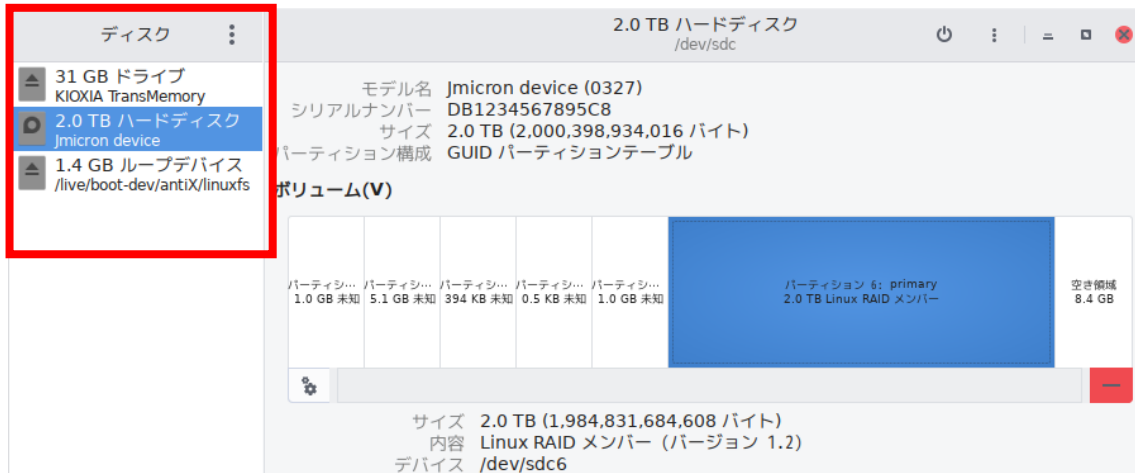


図 3.9.CloneMeister の再起動前に、ディスクユーティリティの画面を写真撮影

操作 2. 「ディスクユーティリティ」の左ウィンドウに表示されている HDD 等の数と順番をメモ又は、写真撮影をします。

操作 3. PC の電源を切ります。

操作 4. NAS-RESCUE ADVANCED を起動します。「ディスクユーティリティ」のボタンをクリックして、「ディスクユーティリティ」の左ウィンドウに表示されている HDD 等の数と順番が、再起動前と完全に一致しているかを確認します。

(LINUX は起動の度に、HDD 等を認識する順番が変わります。従って、「ディスクユーティリティ」の左ウィンドウを確認しながら、HDD 等を抜き差しして、再起動前の状態に完全に一致させて下さい)

操作 5. CloneMeister を開いて、

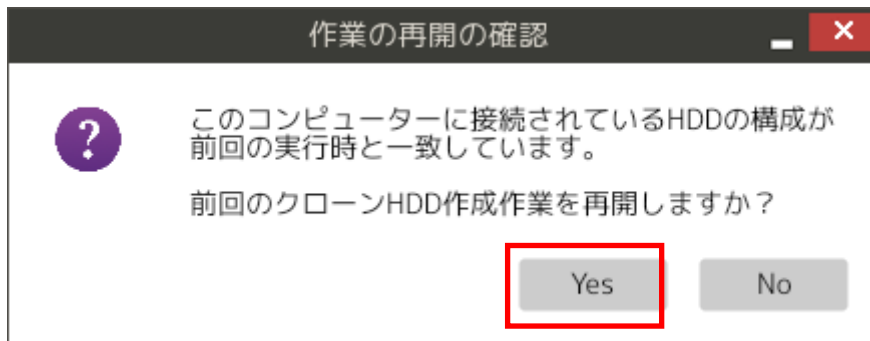


図 3.10.作業の再開の確認メッセージ

このメッセージが表示されれば、コピー再開ができます。「YES」をクリックして下さい。

第4章 ログ画面の解析と対処方法

本章では、数例のログ画面を示し、その解析並びに対処方法を説明します。

4.1 Read エラーの発生箇所を確認する

図 4.1 は、HDD の先頭付近にのみ、Read エラーが発生している例です。

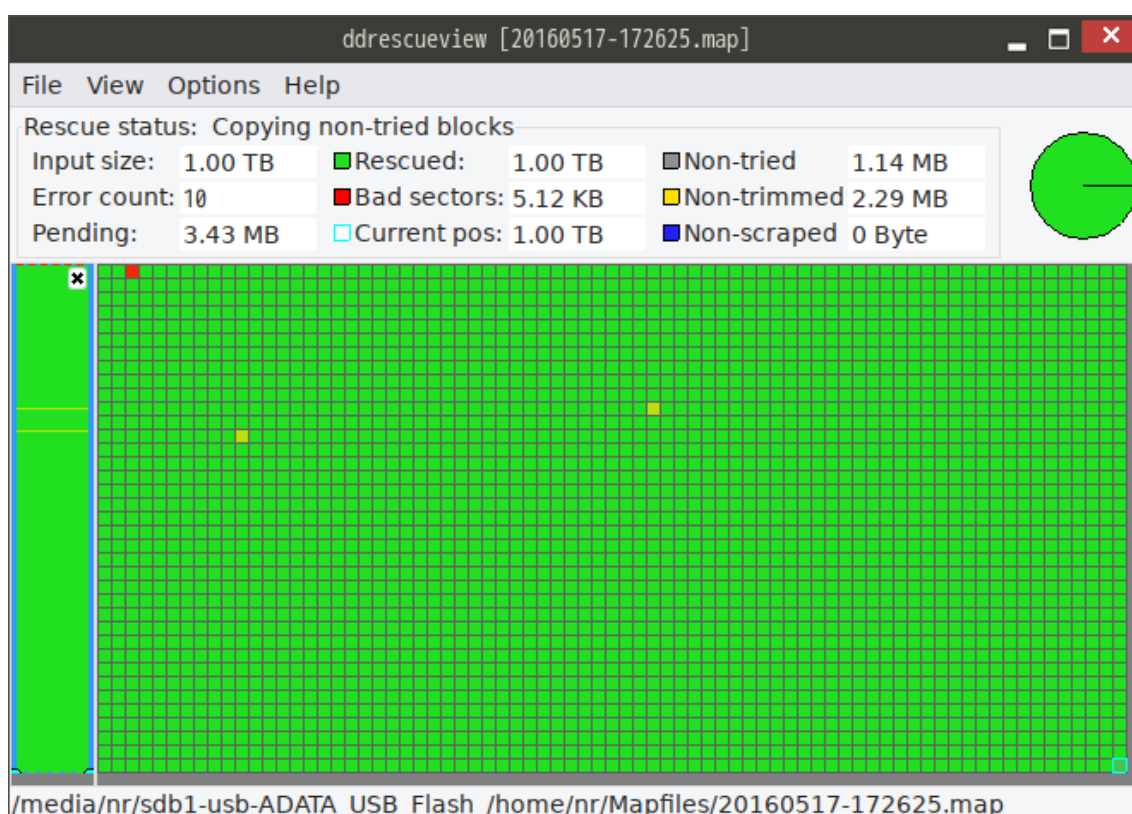


図 4.1.先頭近辺で Read エラーが発生している例

1TB のハードディスクで、Read エラーが 10 個で、Read 出来なかったのは、5120B ということが判ります。

赤い□をクリックすると、次ページの図 4.2 のように、詳細が表示されます。

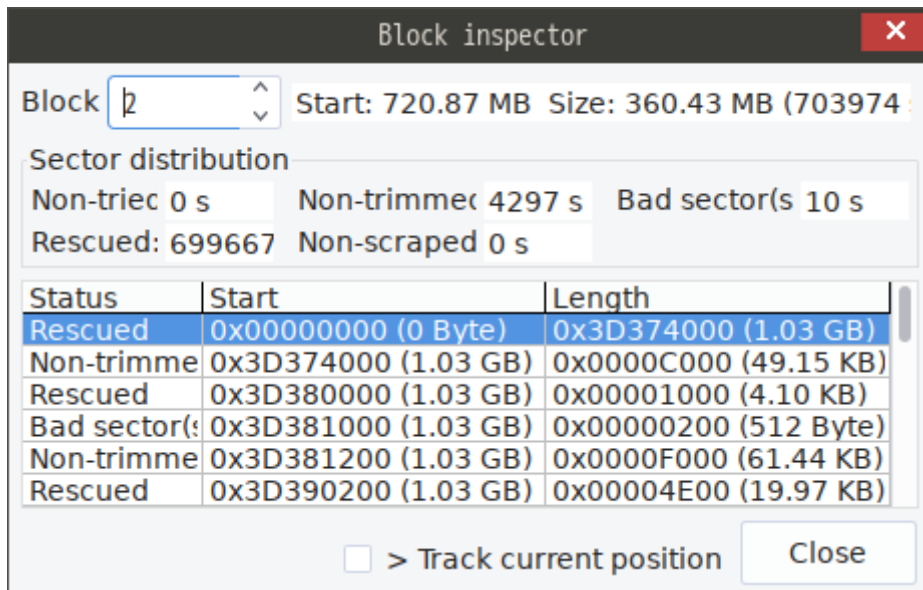


図 4.2.Read エラー発生個所の詳細

この図より、1.03GB 近辺で、10 セクタの Read エラーが発生していることが判ります。この Read エラーがデータ取出しに影響するかどうかは、HDD 等の使用状況により変わります。

HDD 等の使用状況は、「ディスクユーティリティ」のパーティション図で、判断します。

例えば、2 台構成の LinkStation や TeraStation の場合

図 4.3 は、2 台構成の LinkStation や TeraStation の HDD をディスクユーティリティで確認したパーティション図です。データが保存されているパーティションは、左から 6 番目のパーティションです。開始位置は、約 8GB 付近になります。(図 4.1 では、1TB の HDD、図 4.3 では、2TB の HDD ですが、LinkStation や TeraStation のパーティション構造は一致しており、データパーティションの容量だけが変動します)

Read エラーが発生したのは、1.03GB 付近なので、データが保存されているパーティションの外になるので、データの取出しには、完全に影響しません。

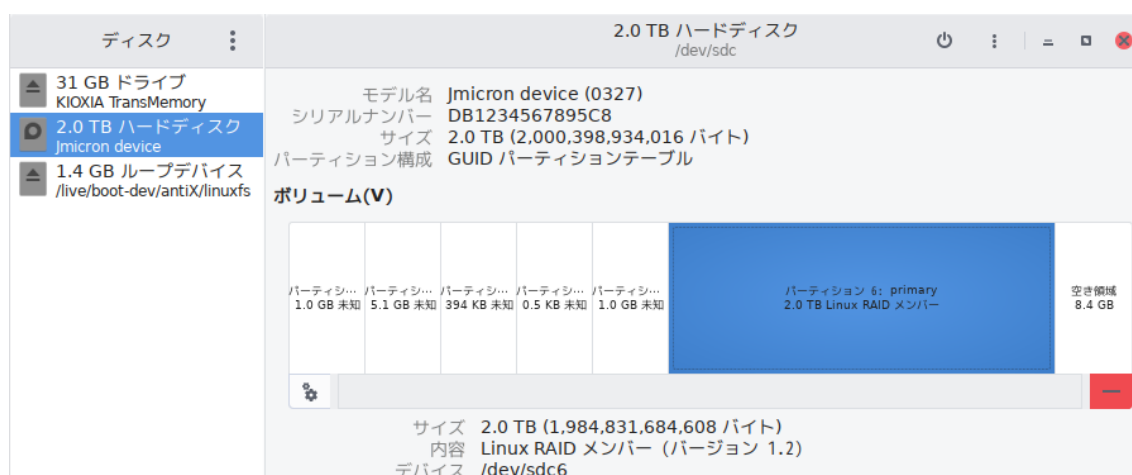


図 4.3..LinkStation や TeraStation の HDD のパーティション図

一方、同じ LinkStation でも、LS400 シリーズや LS500 シリーズの場合

図 4.4 は、LS400 シリーズや LS500 シリーズのパーティション図です。データパーティションは、先頭からになります。

従って、データの取出しには、影響する可能性があります。しかし、領域の先頭には、LinkStation の OS 等が保存されているので、実際にユーザーが保存したデータの取出しに影響は、ほぼ、無いと考えられます。



図 4.4. LS400、LS500 シリーズの HDD のパーティション図

4.2 領域の後半で Read エラーが多発

図 4.5 は、領域の後半が、ほとんど Read できていない例です。

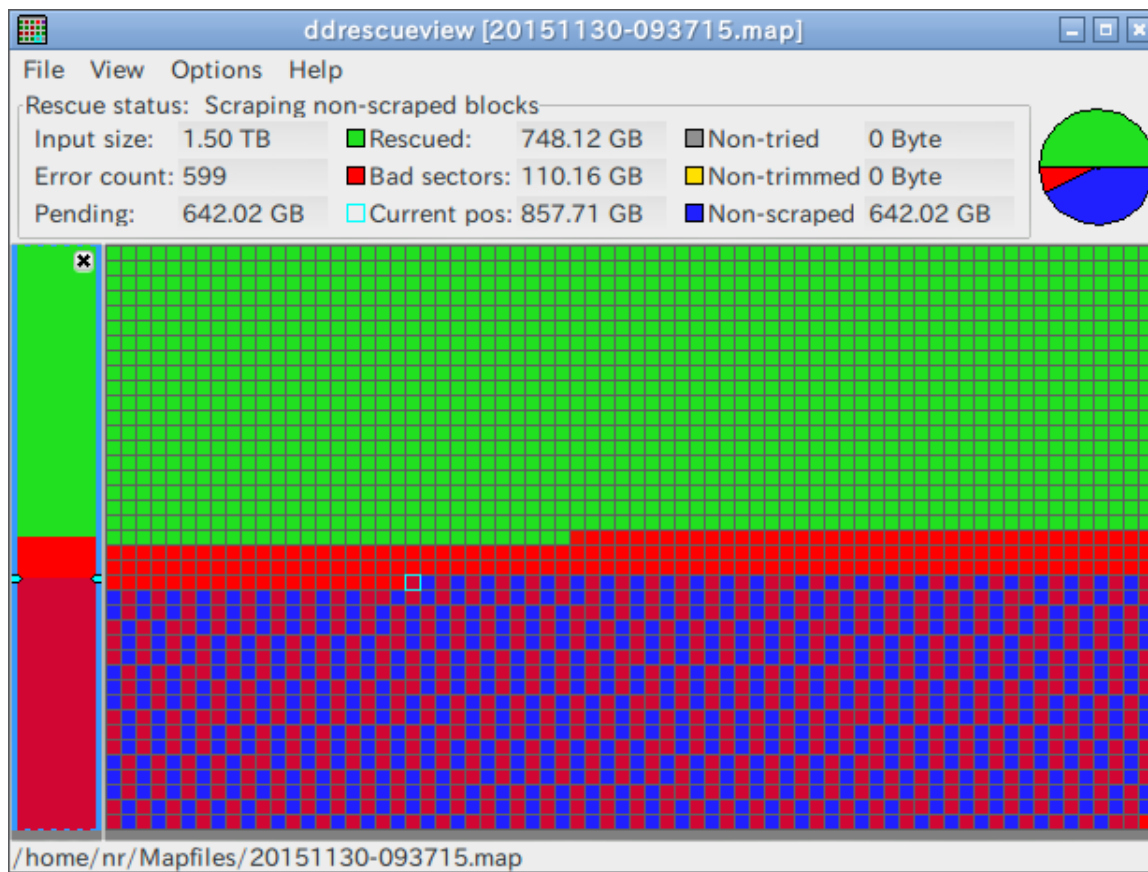


図 4.5.領域の後半で、Read エラーが多発

1.5TB の HDD で、前半の 748GB まではコピー出来ています。保存したデータ量が、748G より少ない場合は、ある程度、データの取出しができると思います。

では、データ量が 748GB 以上の場合は、望みは薄いですが、逆方向からコピーを開始する方法が有ります。詳しくは、「3.4. 反転モード」(P15) を参照下さい。

残る手は、復旧業者に依頼する事になります。おそらく、プラッタ（いわゆるレコード盤）にキズが付いているように思います。復旧料金は高額になると思われます。（弊社へご相談下さい）

4.3 データの保存領域で Read エラーが発生

図 4.6、図 4.7 は、中間点で Read エラーが発生している場合の例です。

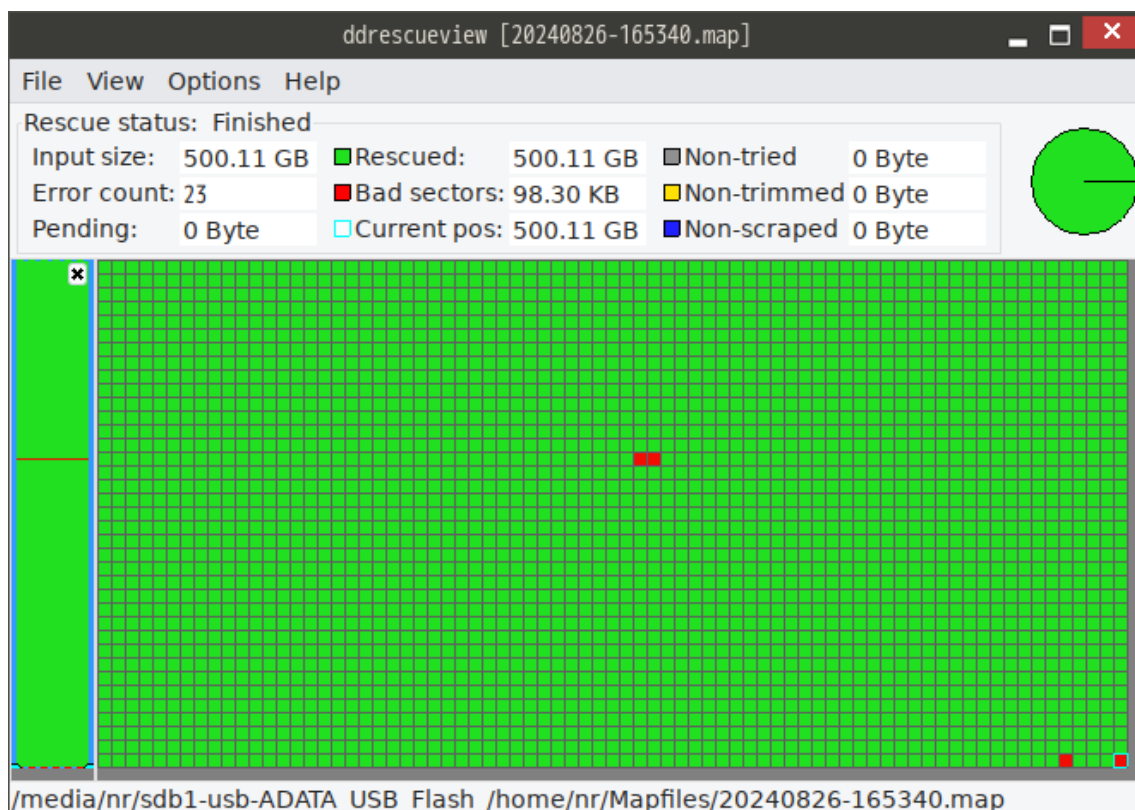


図 4.6.データの保存領域で Read エラーが発生

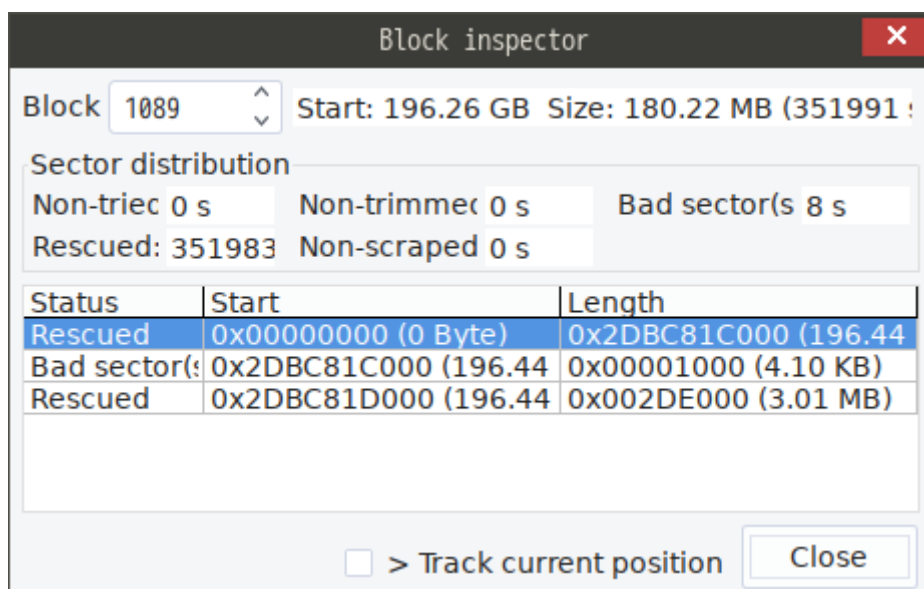


図 4.7.Read エラー発生個所の詳細

図 4.6.、図 4.7 より、500GB の HDD で、約 196.44GB 付近から、23 個、98.30 KB の Read エラーが発生していることが判ります。

まずは、この状態で、データ取り出しを行います。

データ取り出しの影響が有るか、無いかを確認します。

データ取出しに影響が有った場合

- ・データの取出し中に、コピーのエラーが発生
- ・ファイルを開こうとしたら、開かない、もしくは開いたが表示がおかしいなどの現象が発生します。

もし、データ取出しに影響が有った場合は、「3.5 部分コピー」(P15) を参照して、Read エラー部分の部分コピーを行ってみます。

図 16 の例に対する、部分コピーの設定方法は、

開始位置 196GB

コピーサイズ 361MB

設定値の説明

開始位置は、図 16 の表内の Bad sector 196.44GB から、196GB

コピーサイズは、Read エラーが 1089Block と 1090Block にまたがっています。

Block のサイズは、図 16 の右上に、Size:180.22MB と有る事から、

コピーサイズ = $180.22\text{MB} \times 2 \div 1 = 361\text{MB}$

要は、Read エラーが発生した領域を含む、広めの領域を指定します。

第5章 こんな時は？

本章では、クローン作成中に起きる様々な現象について、その対処方法を説明します。

5.1 PC に HDD を接続したら、NAS-RESCUE ADVANCED が起動しない

チェック 1 NAS-RESCUE ADVANCED のみ、なら起動する？

→ 起動する場合 → チェック 2 へ

→ 起動しない場合 → 「6.3. PC の BIOS を設定」(P37)、「6.4. メーカー別 USB から起動する方法」(P38) を参照して、NAS-RESCUE ADVANCED を起動できるようにして下さい。

それでも、起動しない場合は、PC のメーカー名と機種名を書いて、弊社へメールでお問合せ下さい。

チェック 2 NAS-RESCUE ADVANCED のみで起動し、HDD を USB 経由で PC に接続し、「ディスクユーティリティ」で HDD の状態を確認

→ 正しく表示される場合 → チェック 3 へ

→ 表示がおかしい場合 → 「5.2 USB 経由でコピー元を接続したが、認識しない」(P27)、「5.3 HDD の容量が正しく表示されない」(P28) を参照して下さい。

→ 表示されない場合 → HDD が物理障害を起こしています。弊社へお問合せ下さい。

チェック 3 USB 経由で HDD を接続して、クローンを作成できるか？

→ 出来る場合 → そのまま、クローンを作成して下さい。

→ 出来ない場合 → PC と HDD の接続方法に問題があります。もしくは、SATA ケーブルか、電源ケーブルに問題があります。

5.2 USB 経由でコピー元の HDD を接続したが、認識しない

HDD には、種類があります。



図 5.1. 2.5 インチ SSD、2.5 インチ HDD、3.5 インチ HDD

https://note.cman.jp/hdd/hdd_size_change/より引用

チェック 1 HDDのサイズは、3.5 インチ？、2.5 インチ？

→3.5 インチの場合 → チェック 2 へ

→2.5 インチの場合 → チェック 3 へ

チェック 2 USB↔SATA 変換ケーブルには電源ケーブルが付いてる？

3.5 インチのHDDは、駆動用に別電源が必要です。従って、USB↔SATA 変換ケーブルは、100V 電源のある物、もしくはHDDスタンドが必要です。



図 5.2. USB↔SATA 変換ケーブルと HDD スタンド

→電源ケーブルが付いている場合 → チェック 3 へ

→電源ケーブルが付いている場合 → 上写真のような、USB↔SATA 変換ケーブルを用意して下さい。

チェック3 HDDを抜いて、再度接続します。HDDは認識した？

→認識した場合 → 問題解決

→認識しない場合 → HDDは物理障害です。弊社へ相談下さい。

5.3 HDDの容量が正しく表示されない

チェック1 HDDを抜いて、再度接続します。正しい容量が表示された？

→正しい容量表示された場合 → 問題解決

→正しい容量表示されない場合 → HDDは物理障害です。弊社へ相談下さい。

5.4 コピー中に「Write error」と表示された

コピー先のHDDが故障しています。交換して下さい。

5.5 コピー中に「カチッ、カチッ」と音が鳴りだした

HDDが物理障害を発生しました。

チェック1 音が鳴るHDDは、コピー元？、それともコピー先？

→音が鳴るHDDがコピー元の場合

直ぐに「キャンセル」ボタンをクリックして、コピーを終了させて下さい。

「ログ表示」ボタンをクリックして、ログを表示させ、コピーの進捗状態の写真撮影を行います。

その後、NAS-RESCUE ADVANCEDを終了させ、PCの電源を切ります。

コピーの進捗状況にも依りますが、ダメ元で、コピー先のHDDに対して、データ復旧処理を行います。

データの取出しが不完全の場合は、弊社へ相談下さい。

→音が鳴るHDDがコピー先の場合

直ぐに「キャンセル」ボタンをクリックして、コピーを終了させて下さい。

その後、NAS-RESCUE ADVANCEDを終了させ、PCの電源を切ります。

コピー先のHDDを交換して、再度コピーを開始して下さい。

5.6 一週間経ったがコピーが終わらない

コピーの進捗状態によって、判断が変わります。

「3.3 CloneMeister のコピー動作」(P14) を参照し、その動作の進捗状況は、CloneMeister のメッセージ欄で、おおよそ判断できます。

```

ipos: 134152 kB, non-trimmed: 0 B, current rate: 2228 kB/s
opos: 134152 kB, non-scraped: 0 B, average rate: 10319 kB/s
non-tried: 3743 MB, bad-sector: 0 B, error rate: 0 B/s
rescued: 134152 kB, bad areas: 0, run time: 13s
pct rescued: 3.45%, read errors: 0, remaining time: 6m
time since last successful read: 0s

```

図 5.3. メッセージ欄の表示例

No	進捗	判定方法
1	1 回目のコピー中	「Non-Tried」が 0 でない
2	1 回目の Trim・Scrape 中	「Non-Tried」が 0
3	2 回目の再試行中	メッセージ欄の下部に、2 Times と表記
4	3 回目の再試行中	メッセージ欄の下部に、3 Times と表記
	...	
5	N 回目の再試行中	メッセージ欄の下部に、N Times と表記

表 5.1. コピーの進捗状態の判定方法

※N は、CloneMeister の「再試行の回数」で指定した数

上表のそれぞれの進捗に対する、コピーの継続か、中止を判断する方法等を以下に説明します。

「3.7 コピーの中断と再開」を参照下さい。

要は、「キャンセル」ボタンをクリックして、一旦、コピー処理を中断します。

「ログ表示」ボタンをクリックして、ログを表示させます。

まずは、「5.6.1. ログ画面の表示からコピーの再開、中止を判断」の参考に、それぞれの段階での、コピーの中止、再開を判断します。

5.6.1 ログ画面の表示からコピーの再開、中止を判断

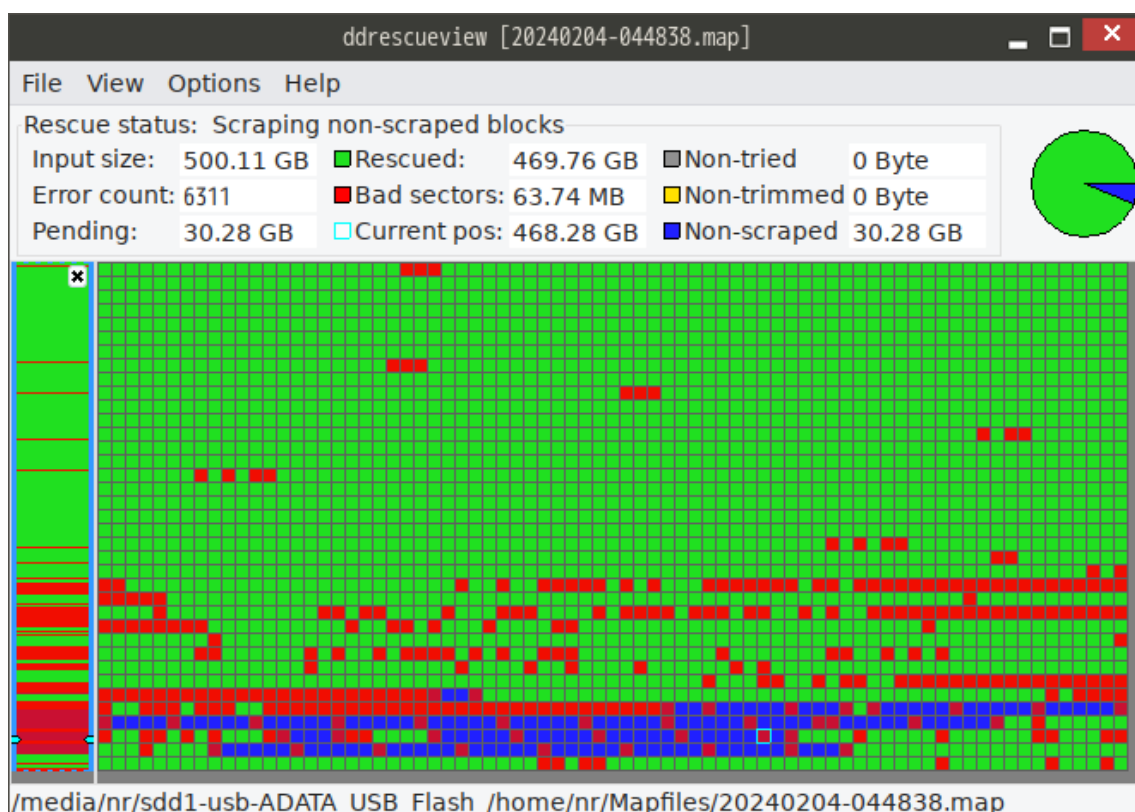


図 5.4. ログ画面の例

マスの色	コピーの状態
緑色	正常にコピーできた所
赤色	コピー出来なかった所
黄色と青色	正常セクタとエラーセクタの分離処理中
灰色	コピーが未着手

表 5.2. .ログ画面内の表示色と判断する目安

※注意 黄色と灰色の例は、図 5.5 を参照下さい。

5.6.2 状態 1. 「1 回目のコピー中」 の場合

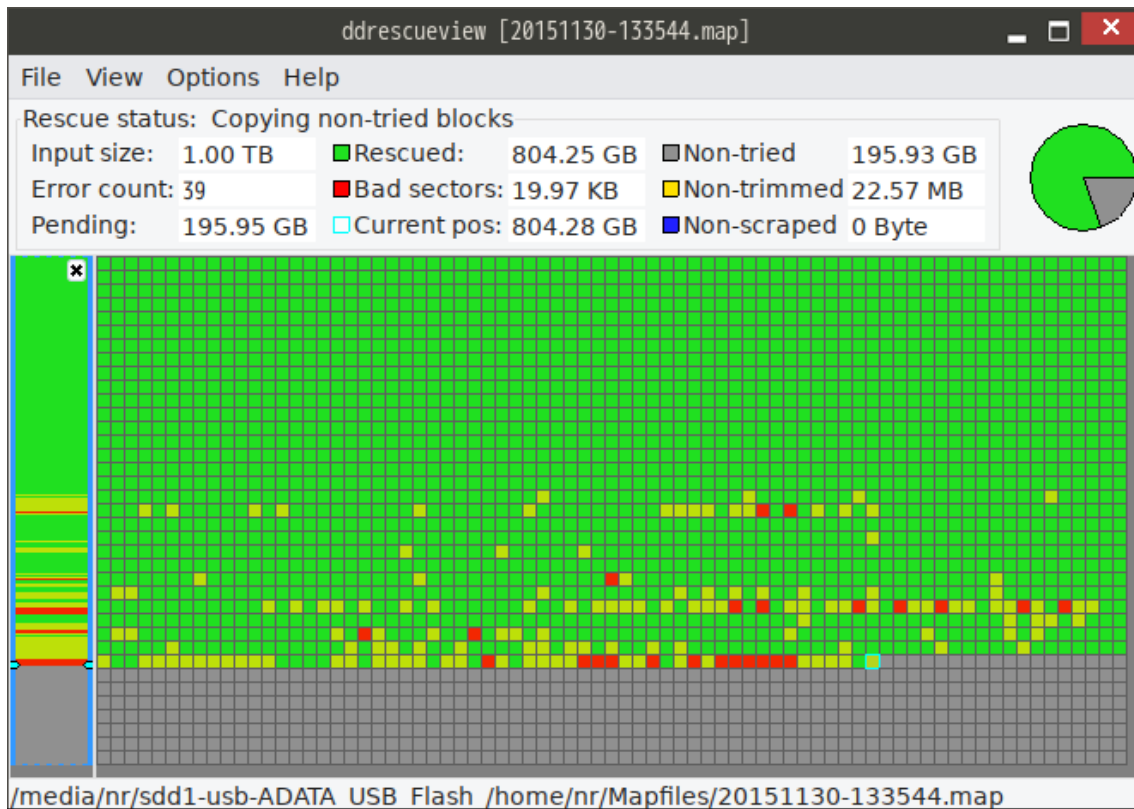


図 5.5. 「1 回目のコピー中」 のログ画面

「1 回目のコピー中」ということは、図 5.5.のように、グレーの領域が存在することになります。

方法 1. 緑色の面積（正常にコピーできたエリア）が、実際に保存したデータ量より大きいと判断される場合は、一旦、これで、データ復旧を試してみます。データ復旧の結果が思わしくない場合は、方法 2.へ進みます。緑色の面積が小さい場合は、方法 2 へ進みます。

方法 2. 「反転モード」で、逆方向からコピーを再開
時折、コピーを中断して「ログ画面」を開いて、コピーの進捗を確認します。

5.6.3 状態 2. 「1 回目の Trim・Scrape 中」 の場合

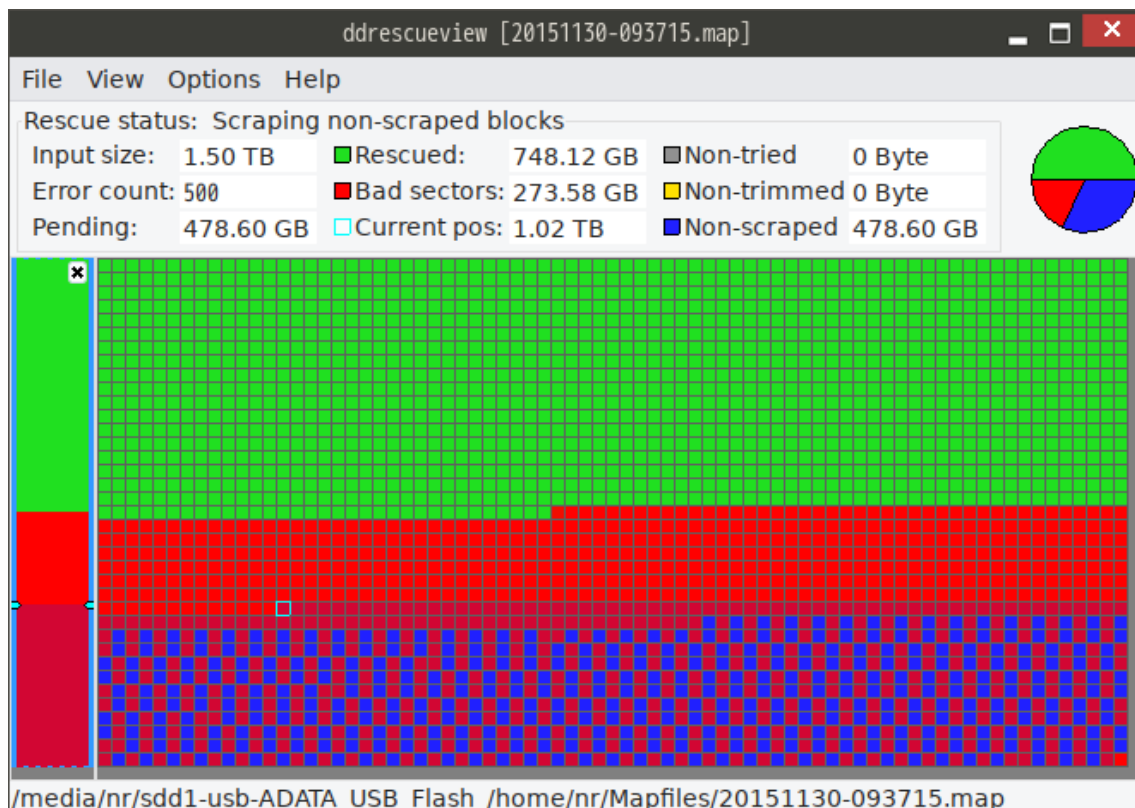


図 5.6. 「1 回目の Trim・Scrape 中」 のログ画面

図 5.6.の例では、青色部分で、Read エラーが発生しているセクタと、正常なセクタとの分離作業を行っている領域になります。

上図の場合、青色部分の中から、正常なセクタを分離しても、この領域からのデータ復旧は望めません。まずは、ここで一旦、コピーを中止してデータ復旧を行い、取り出したデータ量で判断することになります。

上図で、赤色部分が緑色だった場合は、作業を継続して、正常セクタをより多く救出する、ということになります。

5.6.4 状態 3. 「2 回目の再試行中」 の場合

状態 4. 「3 回目の試行中」 状態 5. 「N 回目の試行中」 の場合

「5.6.3 状態 2 「1 回目の Trim・Scrape 中」 の場合」と同様な判断を行います。

第6章 CloneMeister の前準備

本章では、CloneMeister が使えるようになるまでの操作方法を説明します。

6.1 NAS-RESCUE ADVANCED のイメージをダウンロード

[NAS-RESCUE ADVANCED](#) のページから、ISO イメージをダウンロードします。

6.2 NAS-RESCUE ADVANCED を USB メモリにインストール

6.2.1 USB メモリの用意

ISO イメージなので、DVD にも書き込みできますが、ライセンス情報や、ネットワーク設定の情報は、USB メモリの場合にのみ記憶されるので、USB メモリにインストールする事を推奨します。(USB3.0 で、4GB 以上の USB メモリがお勧めです。)

6.2.2 フリーの ISO 書き込みソフト「Rufus」をダウンロード

フリーの ISO 書き込みソフト「Rufus」をダウンロードします。

参考 URL: 【窓の杜】

<https://forest.watch.impress.co.jp/library/software/rufus/>

フリーの ISO 書き込みソフト「Rufus」を使用して、USB メモリにダウンロードした ISO イメージを書き込みます。

6.2.3 USB メモリにインストール

- ① USB メモリを PC に接続した上で Rufus を起動



図 6.1. Rufus を起動 (USB メモリが認識されている)

- ② Rufus の「ブートの種類」に、ISO イメージをドラッグ&ドロップ

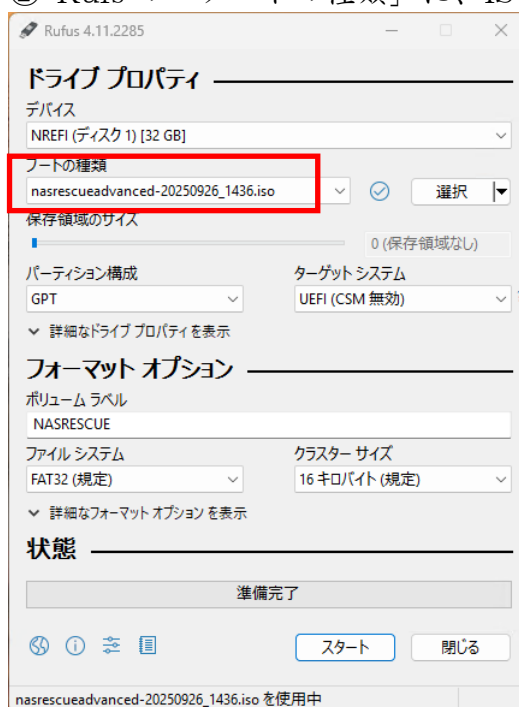


図 6.2 ISO イメージを「ブートの種類」に、ドラッグ&ドロップ

- ③ パーティション構成 → 「MBR」
ターゲットシステム → 「BIOS または UEFI」
として、
Rufus の「スタート」ボタンをクリック

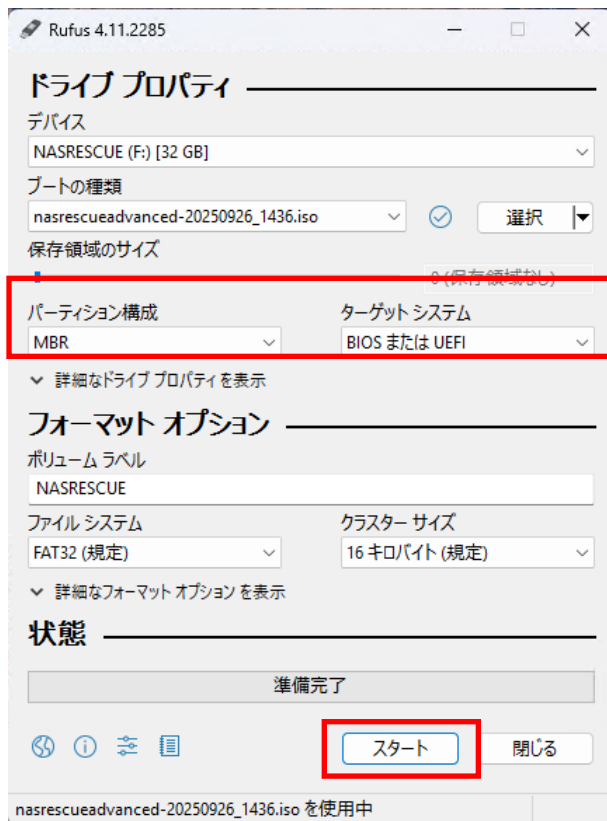


図 6.3. 「スタート」をクリック

- ④ メッセージが表示されるが、すべて「OK」をクリック

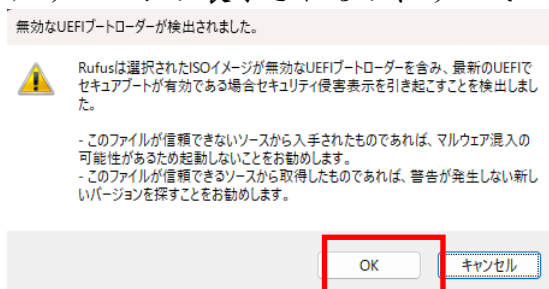


図 6.4. 無効なブートローラーのメッセージ

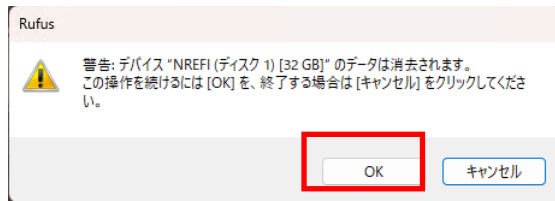


図 6.5. データ消去の確認メッセージ

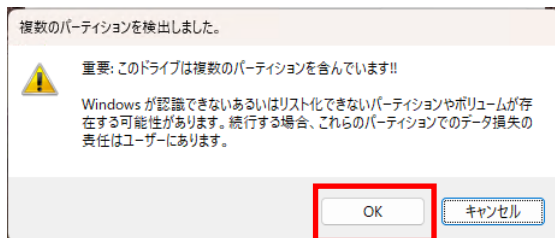


図 6.6.複数パーティションの確認メッセージ

⑤ インストール終了

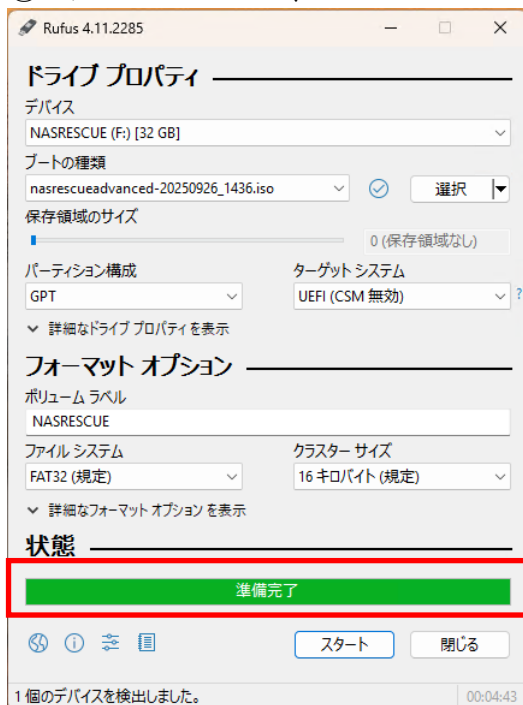


図 6.7. インストール終了

6.3 PC の BIOS を変更

NAS-RESCUE ADVANCED を起動すると、
起動時に下写真のようなエラーが表示され、

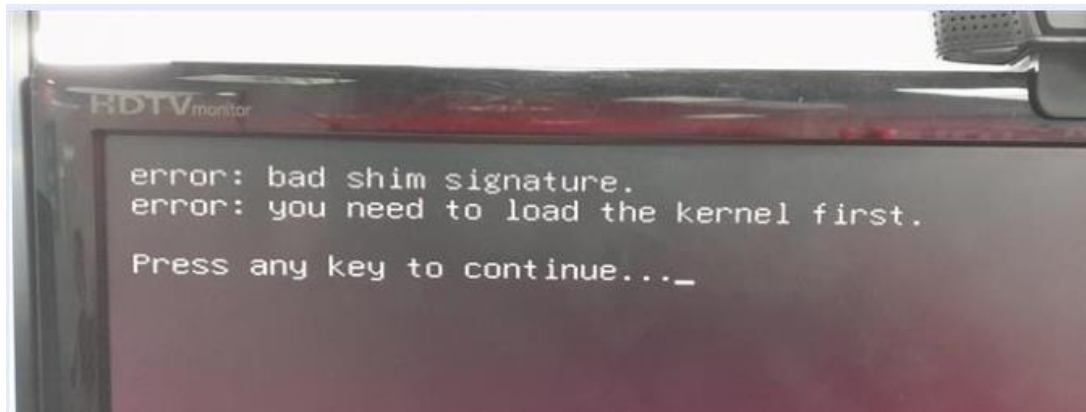


図 6.8 NAS-RESCUE が起動しない

しばらくすると、antix の画面が表示され、NAS-RESCUE が起動しない。

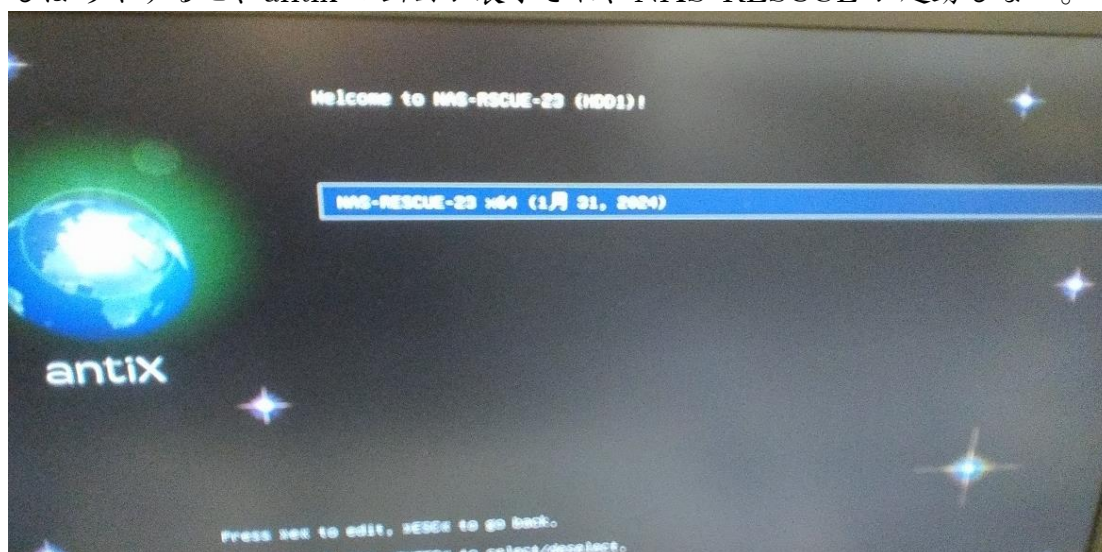


図 6.9 a n t i x が起動しない

対処方法

パソコンの BIOS 設定で、SECURE BOOT を OFF にすることで、解消します。

※注意 NAS-RESCUE を使用後は、必ず、SECURE BOOT を ON に戻して下さい。

設定方法は、パソコンのメーカー、機種によって異なります。「機種名 SECURE BOOT」で検索して下さい。

例 「dynabook SECURE BOOT」 「inspiron SECURE BOOT」

6.4 メーカー別 USB から起動する方法

6.4.1 起動メニューの表示と設定方法

パソコンの設定で、起動メニューを表示させるには、以下の 2 種類の方法があります。

- ① 今回だけ、起動ドライブを変更する。
→今回だけ、NAS-RESCUE を起動させるので、この方法を採用。
以後は、元の状態で PC は起動します。
- ② 起動ドライブを変更後、ずっと、起動ドライブの優先順位を保持する。
→例えば、C ドライブに Windows、D ドライブに LINUX をインストールして、通常は、LINUX を起動させたいなどと、設定したい場合などは、この方法を採用。この場合、BIOS 設定画面を開き、起動の順序を変更する画面に移動して、HDD 等の起動順位を設定します。(ちょっと面倒)

以上の説明の通り、NAS-RESCUE を今回だけ起動する事になるので、上記①の方法を採用します。

この設定方法は、パソコン（マザーボード）メーカーによって、以下の様に異なります。

また、機種によっても、起動方法が異なる場合もあります。

もし、起動できない場合は、「パソコンの機種名 起動メニュー」で検索して下さい。

検索例 「LAVIE 起動メニュー」「FMV-N5220FA 起動メニュー」

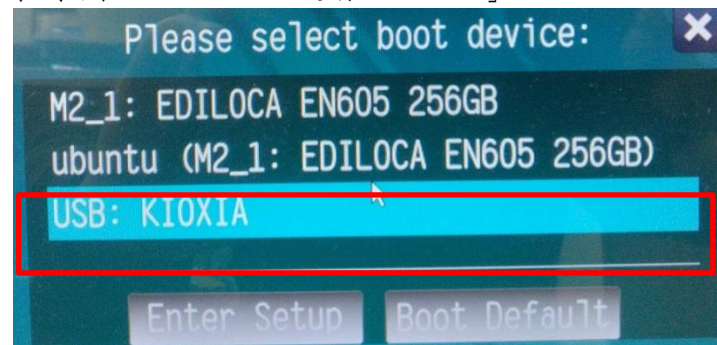


図 6.10. 起動メニューの例・・・USB:KIOXIA を選択し、ENTER キーを押すと、NAS-RESCUE が起動します。

6.4.2 メーカー別起動メニューの起動方法

N o	メーカー名等	起動メニューの起動方法
1	NEC	電源投入後、「F 7」を連打
2	FUJITSU	電源投入後、「F 12」を連打
3	TOSHIBA	電源投入後、「F 12」を連打
4	VAIO	- 「F7」を押しながら電源投入し、すぐに離す
5	DELL	電源投入後、「F 12」を連打
6	HP	電源投入後、「F 9」を連打
7	LENOVO	電源投入後、「F 12」を連打
8	マウスコンピューター	電源投入後、「F 7」か「F 12」を連打
9	フロンティア	電源投入後、「F 2」か「DEL」を連打
10	自作 PC	
	ASRock	電源投入後、「F 11」を連打
	ASUS	電源投入後、「F 8」を連打
	MSI	電源投入後、「F 11」を連打

表 6.1 メーカー別起動メニューの起動方法

6.5 ネットワークの設定

NAS-RESCUE ADVANCED は、インターネット接続が必須です。NAS-RESCUE ADVANCED を起動したら、最初に、インターネット接続の設定を行って下さい。

NAS-RESCUE ADVANCED を起動すると、PC に Wifi 機能が有って、AntiX で認識されると、LAN 接続のステータスウィンドウが表示されます。
表示されない場合は、LAN ケーブルで接続を行って下さい。

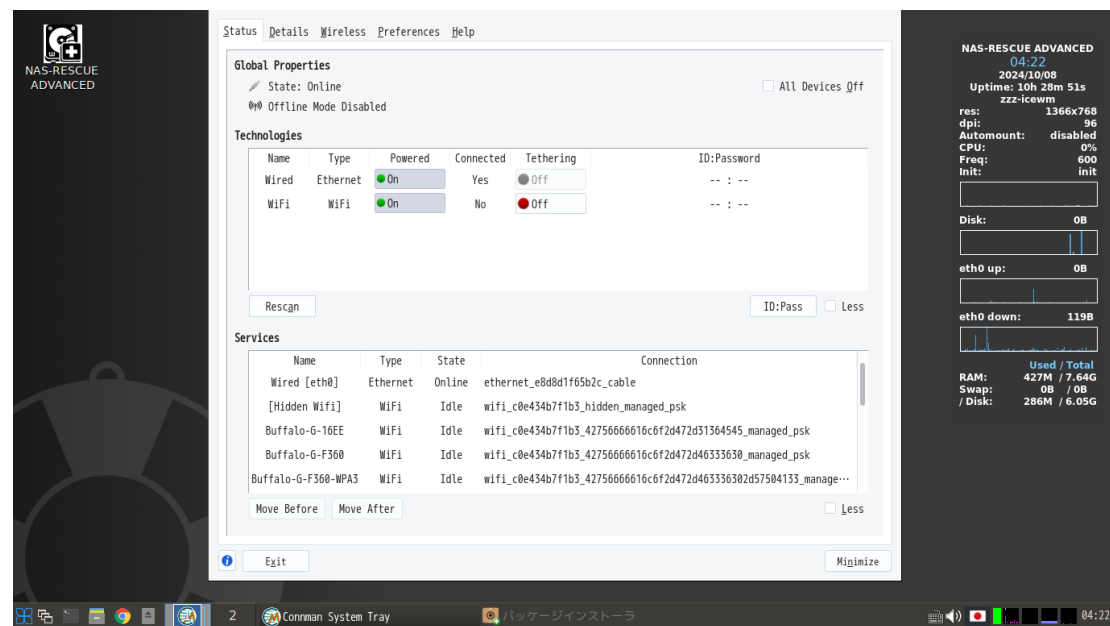


図 6.11. NAS-RESCUE ADVANCED 起動時のネットワークのステータス・ウィンドウ

6.5.1 Wifi 接続設定の方法

① LAN 接続のステータス・ウィンドウの「Wireless」をクリックします。

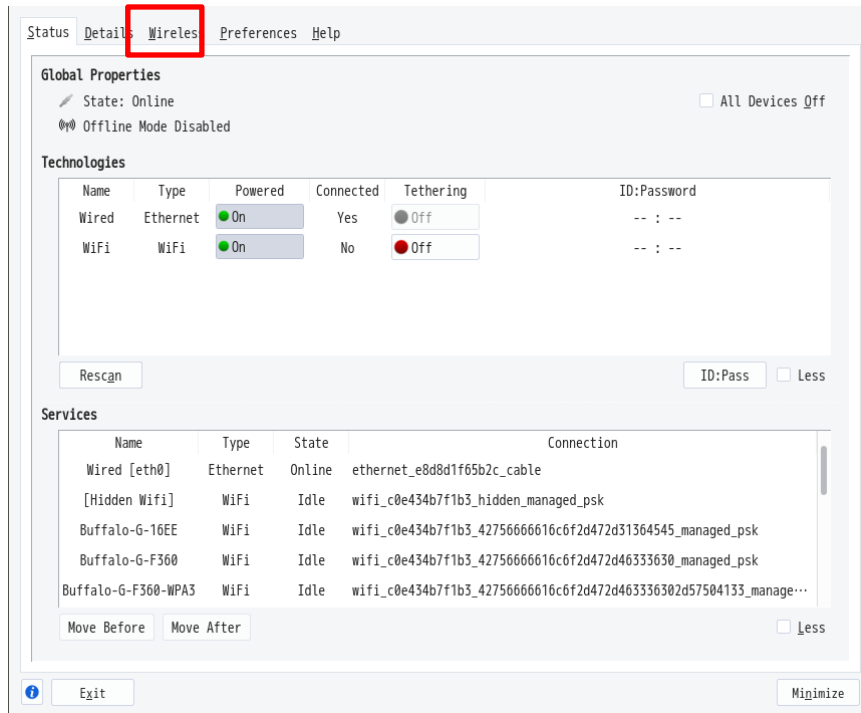


図 6.12. 「Wireless」をクリック

② ご自宅のルーターをクリックして選択し、「Connect」をクリックします。

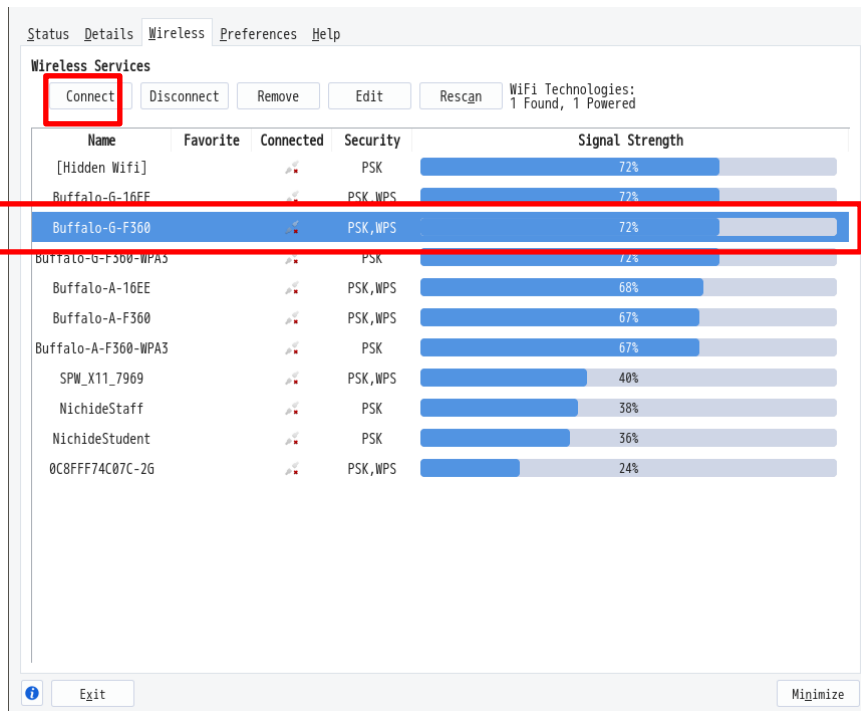


図 6.13. 自宅のルーターを確認して、「Connect」をクリック

③ 「Passphrase」に、ルーターのパスワードを入力して、「OK」をクリックします。

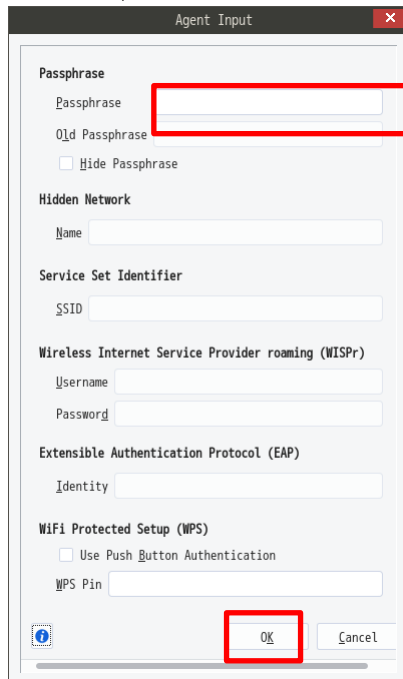


図 6.14. パスワードを入力

接続が成功すると、「Favorite」にアンテナ・アイコンが表示されます。

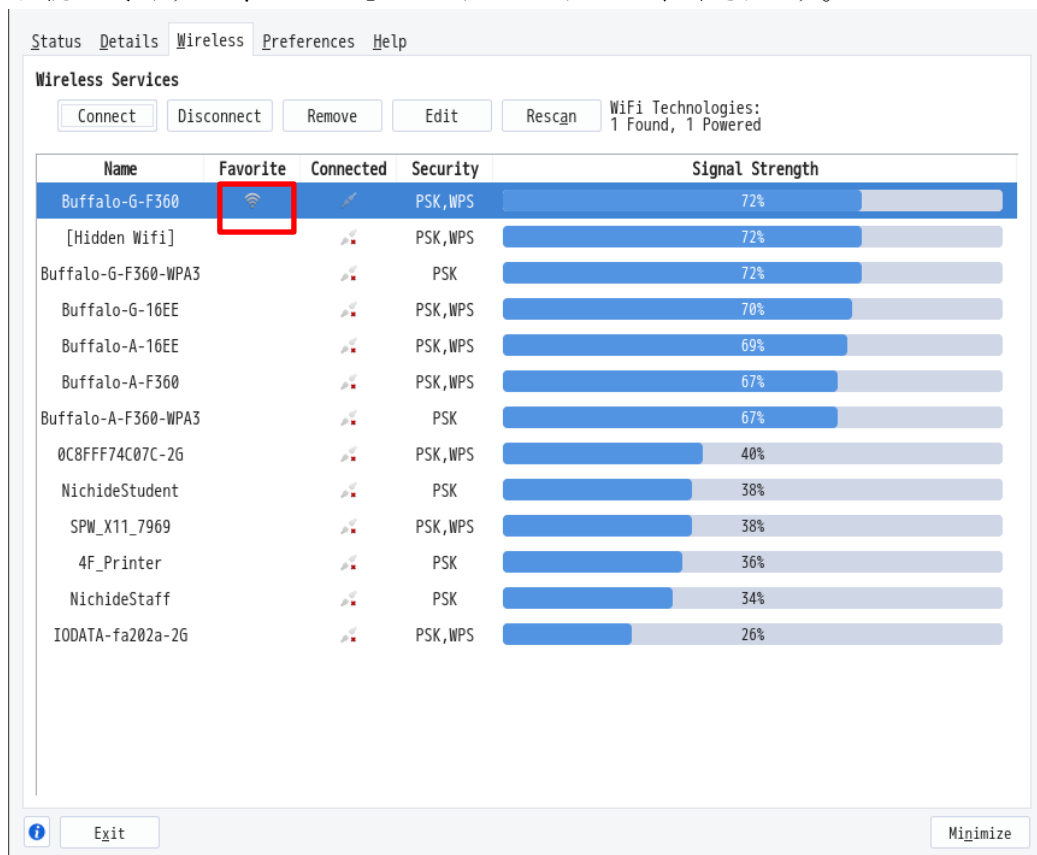


図 6.15. アンテナアイコンが表示される

LAN 接続ステータス・ウィンドウの、「Wifi」の Connect が、Yes になります。

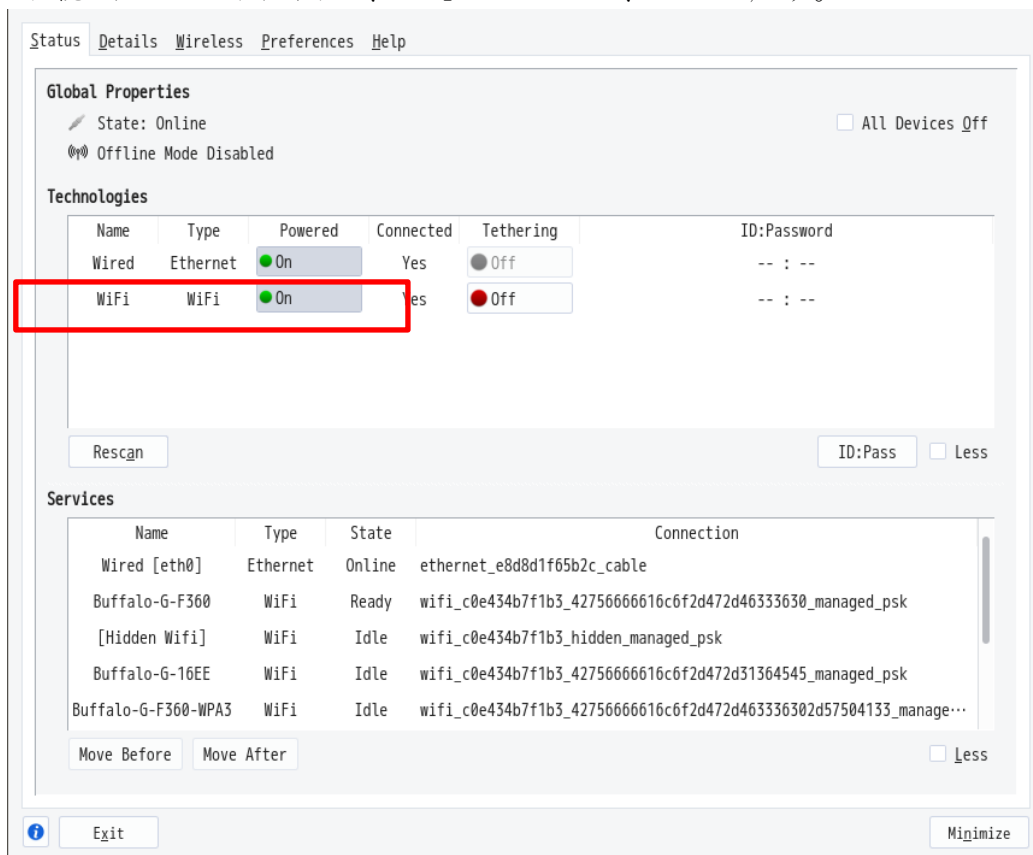


図 6.16. Wifi の Connect が YES と表示される

6.6 ユーザー登録

デスクトップ左上の「NAS-RESCUE ADVANCED」アイコンをダブルクリックします。

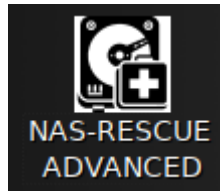


図 6.17.NAS-RESCUE ADVANCED のアイコン

パスワードを入力する画面が表示されたら、「nr」(小文字のエヌ・アール)を入力して、「OK」をクリックします。

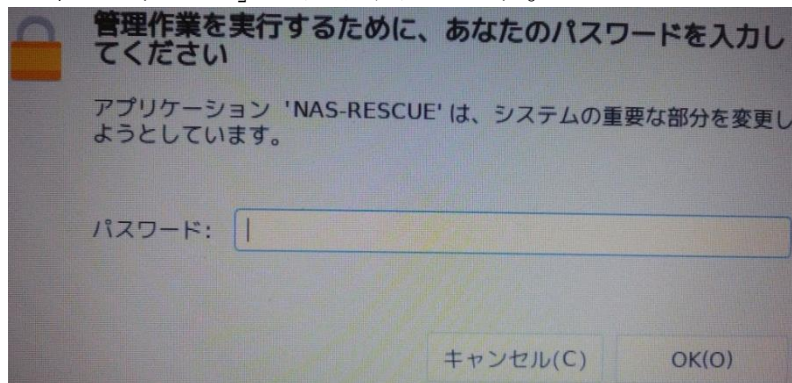


図 6.18.パスワードの入力画面

ADVANCED の左上の「ログイン or 新規登録」ボタンをクリックします。

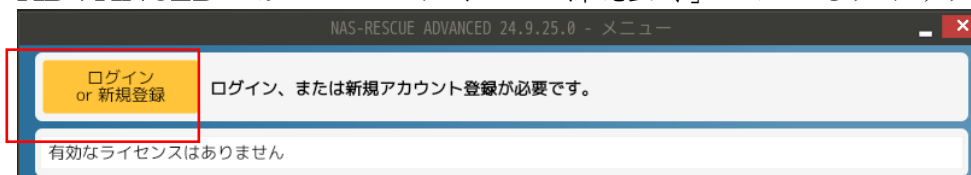


図 6.19. 「ログイン or 新規登録」ボタンをクリック

ボタン名が「キャンセル」に変わります。

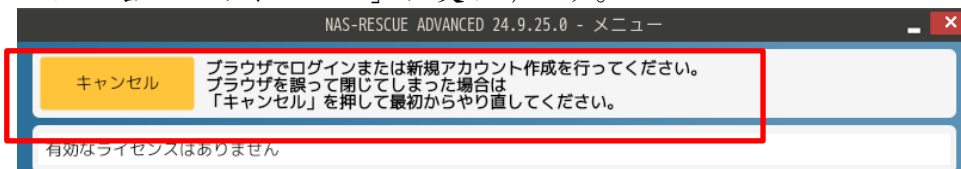


図 6.20.ボタン名が「キャンセル」に変わる

続いて、ブラウザが開きます。「新規アカウント作成」のリンクをクリックします。

図 6.21.新規アカウント作成をクリック

「認証コード送信」画面が表示されるので、ユーザー登録するメールアドレスを入力し、「認証コード送信」ボタンをクリックします。

図 6.22.メールアドレスを入力して、「認証コードを送信」をクリック

入力したメールアドレスに、認証コードの書かれたメールが届きます。

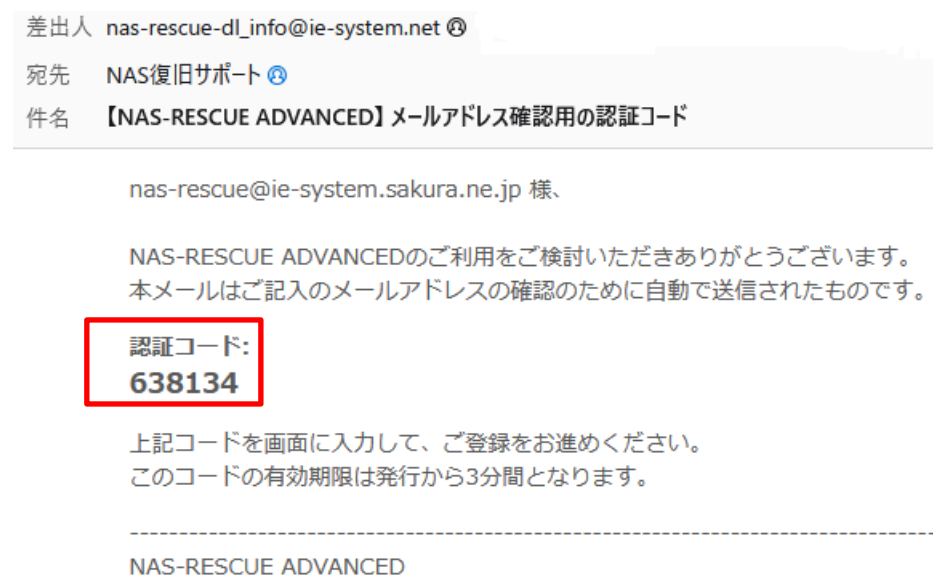


図 6.23.認証コードの書かれたメール

メールに表示されている「認証コード」を入力して、「コードの確認」をクリックします。

◀ キャンセル

**NAS-RESCUE
ADVANCED**

認証コードが入力したメールアドレスへ送信されました。下の入力ボックスに認証コードをコピーしてください。

nas-rescue@ie-system.sakura.ne.jp

638134

コードの確認 新しいコードを送信

図 6.24.認証コードの入力画面

パスワードを2回入力して、「作成」をクリックします。



図 6.25.パスワードの入力画面

ユーザー登録が終了すると、「ログイン中」と表示されます。

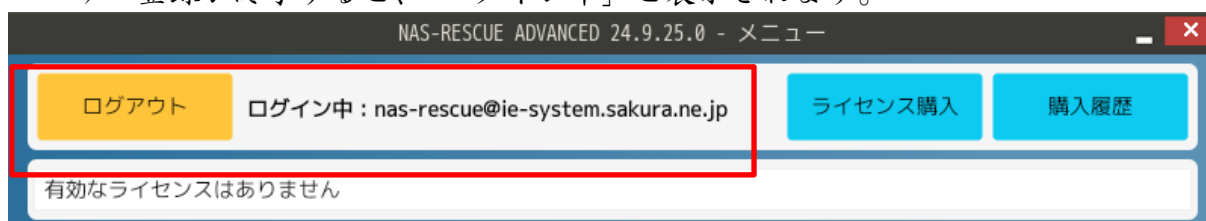


図 6.26.ユーザー登録が完了

ユーザー登録完了メールが送信されます。

差出人 nas-rescue-dl_info@ie-system.net ㊟
宛先 NAS復旧サポート ㊟
件名 【NAS-RESCUE ADVANCED】アカウント新規登録完了

nas-rescue@ie-system.sakura.ne.jp 様、

NAS-RESCUE ADVANCEDをご利用いただきありがとうございます。
アカウントの新規登録が完了しました。

ご不明な点やご質問などございましたら、
下記お問い合わせフォームより、お気軽にお問い合わせください。

NAS-RESCUE ADVANCED お問い合わせフォーム
<https://ie-system.net/contact>

NAS-RESCUE ADVANCED ホームページ
<https://ie-system.net/home>

※本メールは、自動的に配信しています
こちらのメールは送信専用のため、
直接ご返信いただいてもお問い合わせには
お答えできませんので、あらかじめご了承ください。

図 6.27.ユーザー登録完了のメール

6.7 ライセンスコードの登録

「ライセンスコード入力」をクリックして、ライセンスコードを入力します。



図 6.28. 「ライセンスコード入力」 ボタンをクリック

同梱のカードに印刷されたライセンスコードをハイフン無しで入力します。

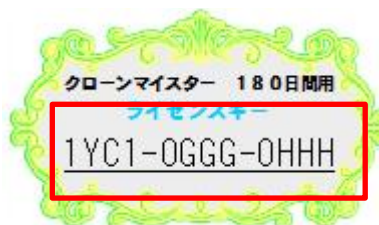
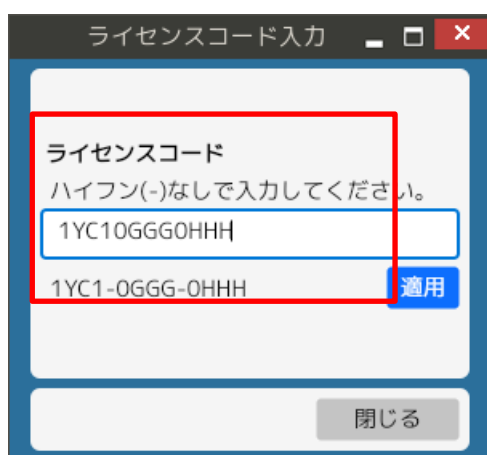


図 6.29. ライセンスコードを入力して「適用」 ボタンをクリック

ライセンスコードを入力後、「適用」をクリックすると、適用されます。

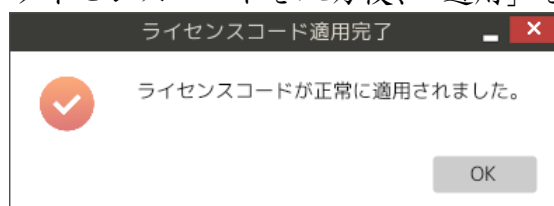


図 6.30. 「ライセンスコード適用完了」

認証完了メールが送信されます。

【NAS-RESCUE ADVANCED】ライセンスコード適用完了

ie_mail@f6.dion.ne.jp 様、

NAS-RESCUE ADVANCED のご利用ありがとうございます。
お客様のアカウントへライセンスコードが適用されました。

◇ライセンス内容

商品名：CloneMeister 180日間 ライセンス

説明：HDDクローン機能

図 6.31. 「ライセンスコード適用完了のメールを受信



図 6.32. ライセンスコード適用後のメニュー画面

6.8 ライセンスの購入

ライセンスを購入するには、「ライセンス購入」ボタンをクリックします。

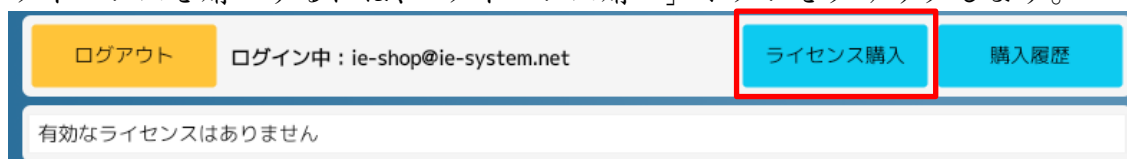


図 6.33. ライセンス購入ボタンをクリック

購入するライセンスにチェックを入れて、「購入手続きへ進む」ボタンをクリックします。PAYPAL 決済の画面に進みます。

※注意 PAYPAL 決済ではなく、銀行振込で購入する場合・・・購入するライセンスを書いて、「銀行振込」希望とメールをお願いします。

Amazon や Yahoo ショッピングで購入する場合・・・商品ページから決済をお願いします。(Amazon や Yahoo ショッピングでは、ライセンスのみの販売をしていないので、メディア代分、価格が上乗せになります。)

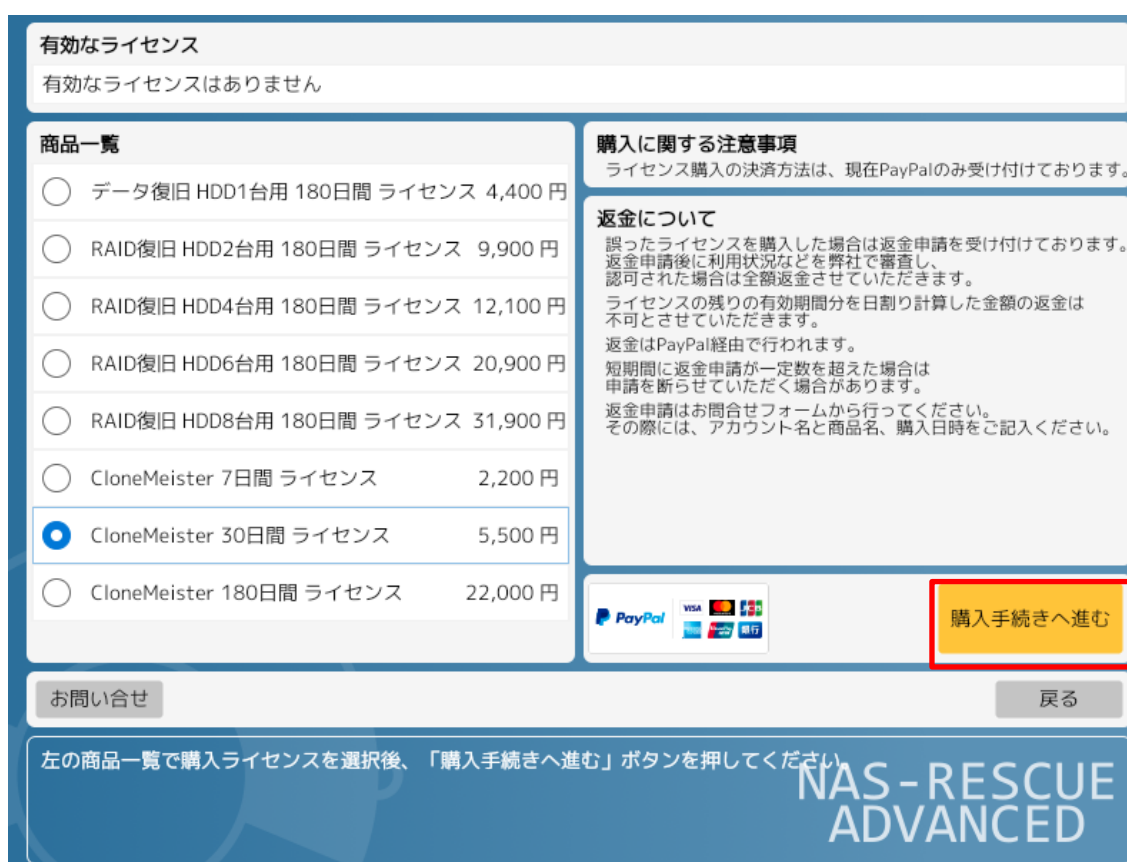


図 6.34. 購入するライセンスにセヘックを入れて、「購入手続きへ進む」ボタンをクリック

PAYPAL のアカウントが有る場合は、ログインします。
 PAYPAL のアカウントが無い場合は、アカウントを作成してログインします。



PayPal

はじめに、お客さまのメールアドレスを入力してください。

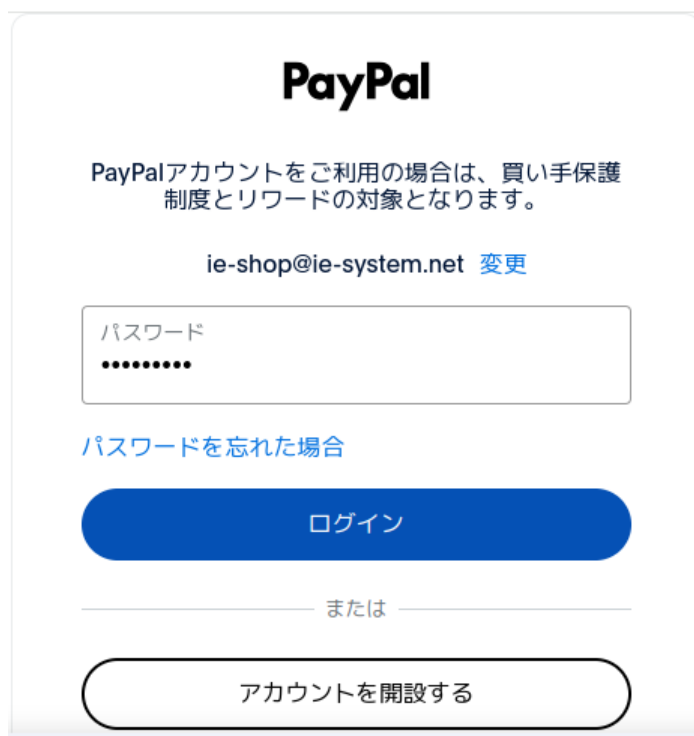
! セッションがタイムアウトしました。再度ログインしてください。

アドレスまたは携帯電話番号
ie-shop@ie-system.net

[メールアドレスを忘れた場合](#)

次へ

図 6.35.PAYPAL のログイン画面



PayPal

PayPalアカウントをご利用の場合は、買い手保護制度とリワードの対象となります。

ie-shop@ie-system.net [変更](#)

パスワード
.....

[パスワードを忘れた場合](#)

ログイン

または

アカウントを開設する

図 6.36.PAYPAL のログイン画面

PAYPAL での手続きが終了すると、下の最終確認画面が表示されます。

「購入確定」ボタンをクリックします。

ここで、「購入をキャンセル」ボタンをクリックすると、購入がキャンセルされます。

購入の最終確認

購入内容

商品名 CloneMeister 7日間 ライセンス

説明 HDDクローン機能

購入金額 2,200 円

購入内容が正しいことを確認して、「購入を確定」を押してください。

購入をキャンセル 購入を確定

図 6.37.購入の最終確認

購入処理が完了しました。のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

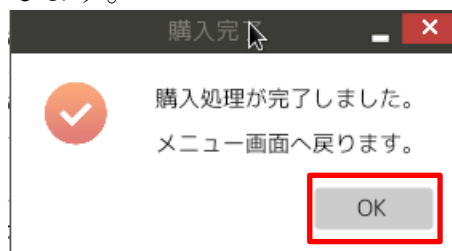


図 6.38.購入処理が完了

ADVANCED のメニュー画面に、ライセンスが表示され、ライセンスに対応するボタンをクリック可能になります。

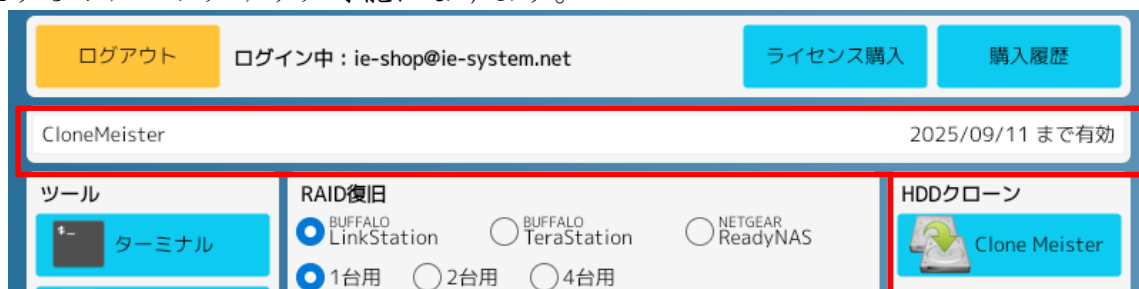


図 6.39.ライセンス購入後のメニュー画面

NAS-RESCUE からの購入完了メールが届きます。



図 6.40. NAS-RESCUE からの購入完了メール

PAYPAL からお支払いのメールが届きます。



図 6.41. PAYPAL からの支払実行のメール

第7章 お問い合わせの仕方

本章では、弊社へお問合せをする方法を説明します。

7.1 弊社で必要な情報

弊社で状況を正しく理解できるように、以下の項目を送信下さい。

- ① CloneMeister の実行状況が把握できる画面のハードコピー
- ② CloneMeister のログ画面のハードコピー
- ③ コピー元のパーティション図（ディスクユーティリティのハードコピー）
- ④ コピー先のパーティション図（ディスクユーティリティのハードコピー）
- ⑤ 質問の内容

7.2 操作手順

7.2.1 「お問い合わせ」ウィンドウを表示

コピーを終了した状態で、CloneMeister の画面の「お問い合わせ」ボタンをクリックします。



図 23. 「お問い合わせ」ボタンをクリックして、お問合せウィンドウを表示

7.2.2 CloneMeister の画面のハードコピーを添付

お問合せウィンドウの「スクリーンショット」をクリックします。

お問合せウィンドウが一旦、消えます。

CloneMeister の画面をクリックします。

すると、お問合せウィンドウのクリックした「スクリーンショット」に、CloneMeister の画面が小さく表示されます。

これで、CloneMeister の画面のハードコピーの貼付が終了しました。

お問い合わせ

連絡先Email
nas-rescue@ie-system.sakura.ne.jp

お問合せ内容
下枠をクリックするとテキストエディタが起動します。
テキストを入力し、保存してエディタを閉じると下枠へ反映されます。

画面イメージ添付
スクリーンショットボタンを押してカーソルが「+」に変化した後に
撮影したいウィンドウをクリックするか、画面範囲をドラッグ選択してください。

スクリーンショット 削除 スクリーンショット 削除

スクリーンショット 削除 スクリーンショット 削除

ログファイル添付

送信 閉じる

図 24.CloneMeister の画面のハードコピーを添付

7.2.3 ログの画面のハードコピーを添付

「ログ表示」ボタンをクリックして、ログを表示させます。
 お問合せウィンドウの「スクリーンショット」をクリックします。
 お問合せウィンドウが一旦、消えます。ログの画面をクリックします。
 すると、お問合せウィンドウのクリックした「スクリーンショット」に、ログの画面が小さく表示されます。
 これで、ログの画面のハードコピーの貼付が終了しました。

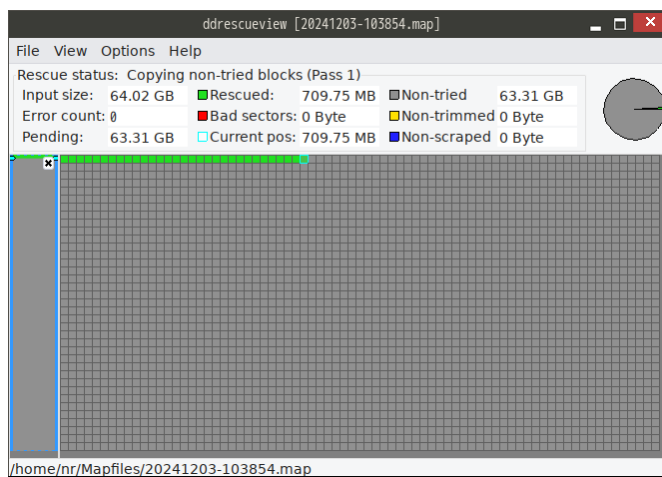


図 25.ログを表示



図 26.ログの画面のハードコピーを添付

7.2.4 コピー元のパーティション図のハードコピーを添付

CloneMeister「戻る」ボタンをクリックして、メニュー画面に戻ります。
「ディスクユーティリティ」をクリックします。
ディスクユーティリティの左ウィンドウ内で、コピー元のメディアをクリックします。ディスクユーティリティの右ウィンドウにパーティション図が表示されます。
お問合せウィンドウの「スクリーンショット」をクリックします。
お問合せウィンドウが一旦、消えます。ディスクユーティリティの画面をクリックします。
すると、お問合せウィンドウのクリックした「スクリーンショット」に、ディスクユーティリティの画面が小さく表示されます。
これで、コピー元のディスクユーティリティの画面のハードコピーの貼付が終了しました。

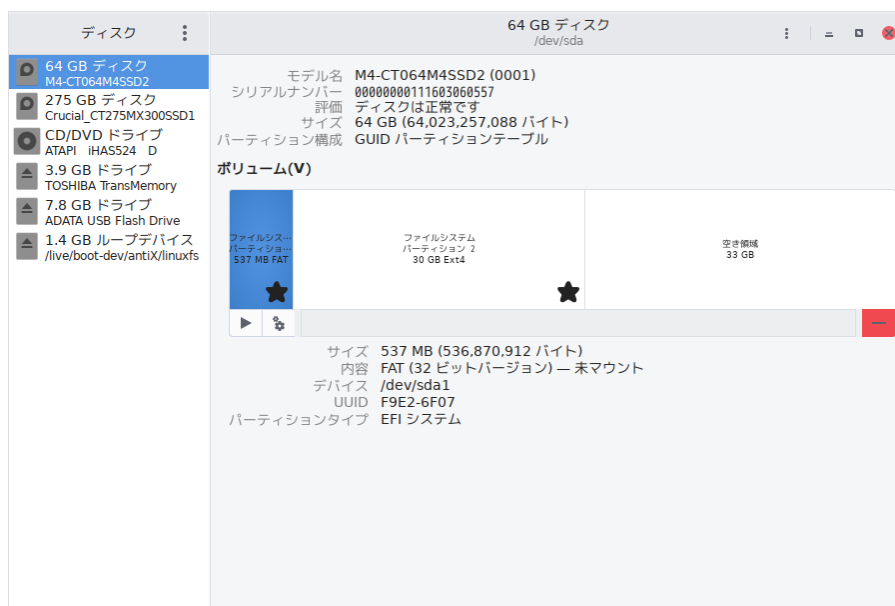


図 27.コピー元のパーティション図



図 28. コピー元のパーティション図のハードコピーを添付

7.2.5 コピー先のパーティション図のハードコピーを添付

ディスクユーティリティの左ウィンドウ内で、コピー先のメディアをクリックします。ディスクユーティリティの右ウィンドウにパーティション図が表示されます。

お問合せウィンドウの「スクリーンショット」をクリックします。

お問合せウィンドウが一旦、消えます。ディスクユーティリティの画面をクリックします。

すると、お問合せウィンドウのクリックした「スクリーンショット」に、ディスクユーティリティの画面が小さく表示されます。

これで、コピー先のディスクユーティリティの画面のハードコピーの貼付が終了しました。



図 29. コピー先のパーティション図

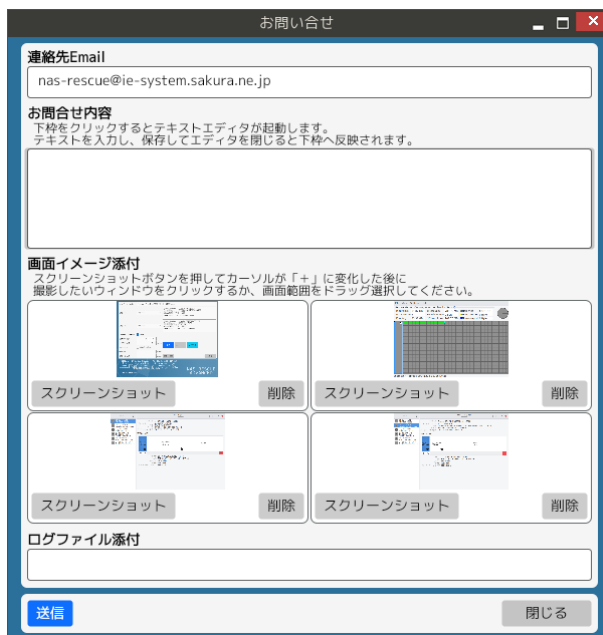


図 30. コピー先のパーティション図のハードコピーを添付

7.2.6 お問い合わせ内容を入力

「お問い合わせ」ウィンドウのお問い合わせ内容の下の方欄をクリックすると、テキスト入力ウィンドウが表示されます。

入力ウィンドウに、お問い合わせの内容を入力します。(日本語入力にするには、「半角／全角」ボタンを押します)

入力が終わったら、「ファイル」→「保存」をクリックします。

テキスト入力ウィンドウが消えて、「お問い合わせ」ウィンドウの「お問い合わせ内容」に、入力内容が反映されます。

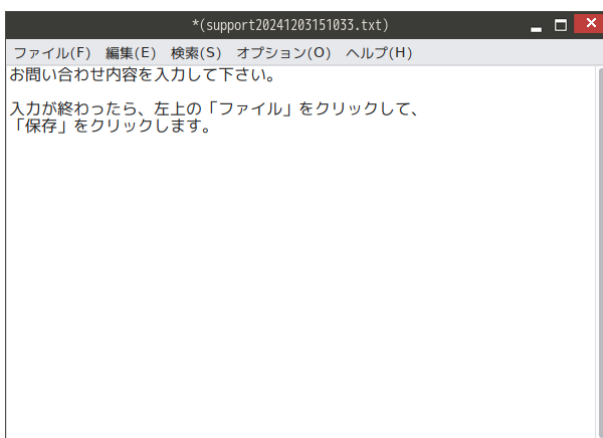


図 31.テキスト入力ウィンドウで、お問い合わせ内容を入力

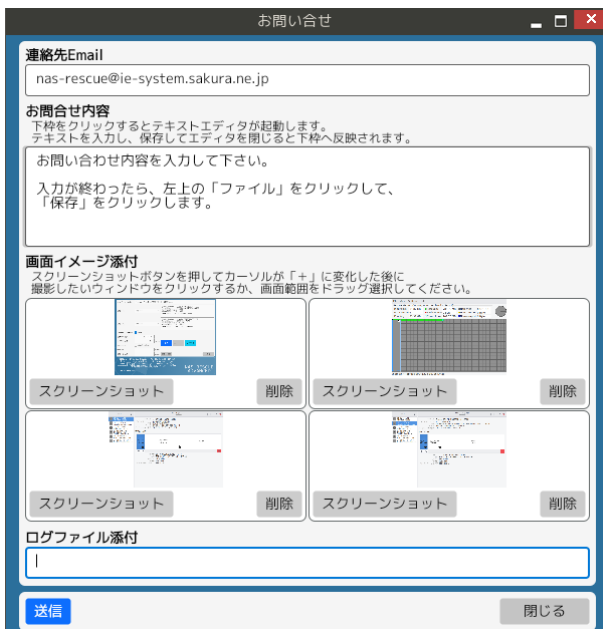


図 32.お問い合わせ内容が反映

7.2.7 メールを送信

「お問合せ」ウィンドウの左下の「送信」をクリックすると、弊社へメールが送信されます。

弊社からの返信をお待ち下さい。

※注意 お問合せで送信された内容は、弊社の商品説明やお問合せに利用されることが有る事をご了承下さい。（ユーザー様個人を特定できるような内容は、公開しないことをお約束させていただきます。）